



## JOURNAL OF ORAL BIOSCIENCES

Official Journal of the Japanese Association for Oral Biology

# 学術論文作成の基本と効率的なPubMed 文献検索法、EndNoteやMendeleyを活用 した文献データ管理法について

大島 勇人

Journal of Oral Biosciences 誌編集委員長

新潟大学大学院医歯学総合研究科

histoman@dent.niigata-u.ac.jp



Japanese Association for Oral Biology

# Conflict of Interest

**Author's names: Hayato Ohshima**

The authors declare no conflicts of interest associated with this manuscript

# Contents

- 学術論文作成の基本
- 効率的なPubMed文献検索法
- EndNoteを活用した文献管理法
- Mendeleyを活用した文献管理法



# Key Question

私たちは、効率的に学術論文を作成するためには どうしたら良いのでしょうか？





# アルフレッド・アドラーの視点で研究を捉える

## • 「課題の分離」

- 「これは誰の課題なのか？」という視点から、自分の課題と他者の課題を分離し、他者の課題には踏み込まない。→論文は共著者全員の課題である。
- 「その選択によってもたらされる結末を最終的に引き受けるのは誰か？」を考えると、容易に「課題の分離」はできる。

## • 「承認欲求」の否定

- 「誰かに認めてもらいたい、期待に応えたい、他者から嫌われたくない」ということで、「縦の関係」の軸となる。→共著者と「横の関係」を構築する必要がある。
- 「課題の分離」ができておらず、承認欲求にとらわれている人、すなわち「縦の関係」を構築している人は、きわめて自己中心的な人ともいえる。

## • 「自己受容」

- 仮にできないのだとしたら、その「できない自分」をありのままに受け入れ、できるようになるべく、前に進んでいくこと。→失敗を成長の糧にする。

## • いまできることを真剣かつ丁寧にやっていく。

- 自分が幸福になるには、他者貢献をなし、共同体にコミットし(主体的に関わり)、「わたしは誰かの役にたっている」ことを実感すること→他の研究者と研究成果を共有する。人材育成に貢献する。



# 渋沢栄一の視点で研究を捉える

- 「智、情、意(知恵、情愛、意志)」の三つがそれぞれバランスを保って、均等に成長したものが完全な常識であると考える。
- 「知恵」: 何ごとに対しても、その原因と結果を見抜き、今後どうなるかを見通せる。→適切な研究目的と方略、研究の実践が大きな結果を生む。
- 「情愛」: バランスの悪さを調和していく。→研究者仲間と共に成長する。
- 「意思」: 動きやすい感情をコントロールするものは、強い意思より他にない。→研究は地道な努力の積み重ねである。
- 強い意思のうえに、聡明な知恵を持ち、これを情愛で調節する。さらに三つをバランスよく配合して、大きく成長させていってこそ、初めて完全な常識となる。→大きな研究成果を生む。



# ジェームス・アレンの視点から研究を捉える

- すべての出来事には「原因」があるから「結果」があるのです。だから、結果を冷静に見つめることによって、その原因を理解することができる。→研究結果から真実を理解する。
- 良い考えと行いは、良い結果をもたらし、悪い考えと行いは悪い結果をもたらす。この心理はすべての自然界にあてはまるものである。→適切な研究目的と方略は良い研究結果を生む。
- 自分自身の力強い人生をスタートさせるには、ネガティブな否定的な心をポジティブな前向きの変えていくことから始める。
- 利己的なものをすべて放棄してこそ、初めて人を愛し、本当に大事なものを手に入れられるようになる。
- 結果から、本質的な原因を見極められれば、自分の間違いに気づき、自分を変えることができる。その結果、状況や出来事に振り回されないで穏やかな心でいられる。



From 「ジェームス・アレンの自分を幸せに導く方法」

# 科学とは何か？



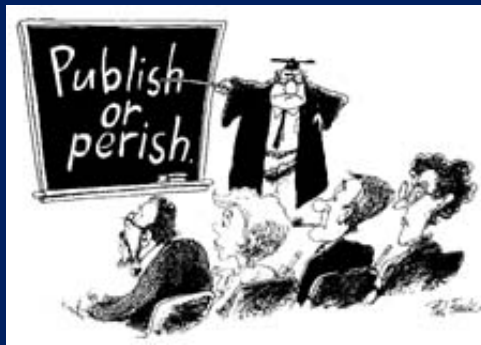
@Nagasaki 2017

- 科学とは、自然現象を「観察」して、その現象の機構を「問う」、その回答得るに「仮説」を立て、その正否を「実験」で証明し、その「結果」を「公表」という過程
- 研究の失敗の原因：自然現象に関する情報の取得に由来。多くは不十分な情報検索で、時には既に同一・類似な研究成果が存在し、私の研究は不必要であった。得た情報の吟味が不十分でその情報の「科学的方法」応用の誤りを指摘できず、誤った仮説を立てそれを追求したりした。→徹底した情報取得と得られた情報の信頼性の評価が「科学的方法」の活用の必要条件
- 「仮説」と「実験」との間には密接な相互関係がある：実験的に立証不可能な仮説は空想であると言える。→実験手法の有無が「仮説」の範囲を拡大或いは縮小する。時には適当な方法が存在せず、既存の手法を適応・改良したり新しい手法を考案する必要性が生じる。「仮説→実験」過程は研究環境が研究成果に大きく影響：共同研究者間の解放された討論や助言は、各々研究者が直面した問題点の解消に貢献→研究計画は共同研究者との討論により徐々に整頓され、その明文化は不明瞭や漠然とした志向を指摘し、その打開策の検出を強制した(科研費の申請書の作成を共同研究者や教室員との共同作業にすることで熟考された研究計画と同時に意思の通じた研究環境が得られた)。

From Prof. Paul K. Nakane (元California Polytechnic State University教授)：第119回日本解剖学会特別講演より

# 論文を書く事の重要性

- **Publish or Perish**: 「出版せよ、そうでなければ消えてしまいなさい」  
(アメリカのアカデミズムの格言)
  - 研究はその成果としての論文や本の出版を伴う。
  - 出版することで、社会にそれを還元する義務を負っている。
  - 論文や本を出版しない教員は、現場からの「消滅・退場」Perishに値する。
- **And then all rubbish prevail**: 「粗造濫造」
  - 生産性だけが優先されれば、研究と論文の質の低下を招く(児玉昌己 [久留米大学])。
- **Work, Finish, Publish**: 「はたらき、まとめ、出版せよ」(Michael Faraday [1971-1867])



Form <http://blog.arjournals.com/2012/07/publish-or-perish-current-trend-in.html>

**JOURNAL OF ORAL BIOSCIENCES**

Official Journal of the Japanese Association for Oral Biology

# 良い原稿とは...

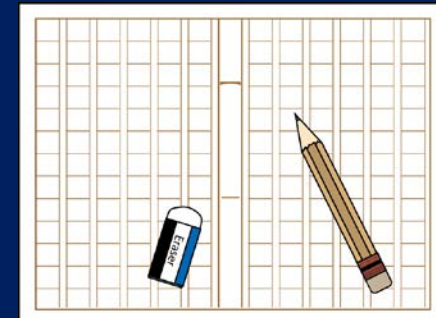


- ジャーナルに適していること
  - ※候補となりうるすべてのジャーナルについて調べる。
    - 目的と範囲 (Aims and Scope)
    - 論文の種類
    - 読者層
    - 最近発表された論文の抄録に目を通し、注目されている話題を知る。
- 出版倫理を遵守していること
  - 他者の論文を盗用しない。
  - 同じ研究に関して複数の論文を出版しない、同じ原稿を一度に複数のジャーナルに投稿しない。
  - 他者の論文を適切に引用する。
  - 大きな貢献をした共著者のみを示す。
- 投稿規定 (Guide for Authors) に従うこと
  - 投稿規定を順守して、原稿を準備する。編集者は完成度の低い原稿に時間を浪費するのを嫌う。



# 投稿の準備は整いましたか？

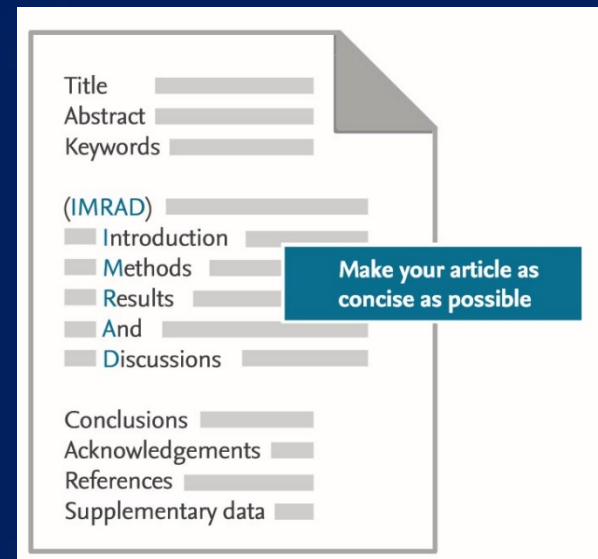
- 投稿された原稿の35%は査読前の段階で却下されている。
- 投稿する前に、原稿の内容を必ず見直す。
- あなたの発見は、特定の研究分野における理解に貢献するものですか？
- あなたの論文は、読者の関心を引くものですか？
- 原稿は適切な構成に則って作成されていますか？
- 達した結論は結果で裏付けられていますか？
- 参考文献は地域的な偏りがなく、入手可能ですか？
- 図表の形式は適切ですか？
- 文法やスペルの誤りをすべて修正しましたか？



# 論文の構造

原稿はできる限り簡潔に書きましょう

- **Title** (タイトル) → 内容を明確に示す。
- **Authors** (著者) → authorshipが分かるようにする。
- **Abstract** (抄録) → 何をしたかを簡潔に説明する。
- **Keywords** (キーワード) → 論文が抄録・索引サービスで正しく識別されるようにする。
- 1. **Introduction** (緒言) → 背景・仮説を説明し、研究の目的を示す。
- 2. **Materials & Methods** (材料と方法) → データの収集方法や実験方法を説明する。
- 3. **Results** (結果) → 何を発見したかを説明する。
- 4. **Discussion** (考察) → 研究結果の意味を検討する。
- **Acknowledgements** (謝辞) → 研究を支援した人が分かるようにする。
- **Conflict of interest** (利益相反) → 利益相反の有無を明示する。
- **Ethical approval** (倫理的承認) → ヒトや動物実験についての倫理的承認の有無を明示する。
- **References** (参考文献) → 過去に出版された論文が分かるようにする。
- **Supplementary material** (補足資料) → 専門家向けの補足資料を提供する。





# 研究と論文の構成

## 研究

## 論文

Introduction  
References

- 大きな研究テーマを設定する
- 自分 & 過去の研究をベースに未解決の問題点を整理する
- 仮説を提唱する
- 具体的な研究目的を設定する

**Rationaleが重要**

Methods  
References

- 研究目的を達成するための有効な研究方略を考える

Results

- 研究を実施する
  - 実験結果を検証する
  - 図表の作製
- Trial and error

Discussion  
References

- 本研究で明らかになったこと(新しい所見)を説明する
- 研究結果の意味を検討する
- 過去の研究結果と比較する

Title

- 研究内容を適確に伝えるタイトルを考える

Abstract

- 何をしたかを簡潔に説明する

演繹法



帰納法

JOURNAL OF ORAL BIOSCIENCES

Official Journal of the Japanese Association for Oral Biology

科研費申請

# 執筆前に論文の骨格を考える

## Introduction

### Background

- 何故本研究を実施する必要があるのか？
- 問題点は何なのか？
- 仮説を提唱する

### Research objectives

- 研究目的を達成する研究方略が立案されていなければならない

### Materials & methods

### Results

- 本研究で明らかになった結果(所見)を示す
- 論文の善し悪しはResultsで決まる

### Discussion

- Resultsで示された結果の意味・意義を示す
- 未解決の問題や臨床的意義など今後の展望も示す
- IntroductionとResultsの繰り返しを避ける

それぞれのsection間で内容の重複を避け、各section相互を有機的に関連づけることが、科学的な重要性をつかみ易い論文を作成するコツである

# 好ましくない研究行為 (QRP: Questionable Research Practice)

- 「好ましくない研究行為とは、研究活動の伝統的な価値を侵害する行為で、研究プロセスに有害な影響を与えうるものです。それらの行為は研究プロセスの誠実さへの信頼を損ない、科学のさまざまな伝統的習慣を脅かし、研究成果に影響を与え、時間・資源を浪費し、若い科学者たちの教育を弱体化させる可能性があります。」(National Academy of Science)
- 重要な研究データを、一定期間、保管しないこと
  - 研究記録の不適切な管理
  - 論文著者の記載における問題
  - 研究試料・研究データの提供拒絶
  - 不十分な研究指導、学生の搾取
  - 研究成果の不誠実な発表(特にメディアに対して)



誠実な研究活動

好ましくない研究行為

研究不正

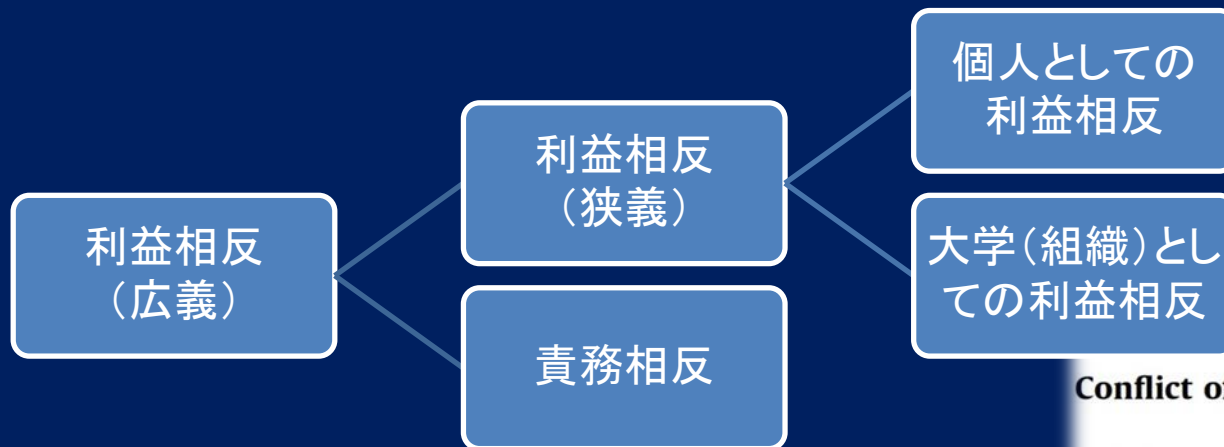
(理想的な行動)

(最悪な行動)

From 日本学術振興会: 科学の健全な発展のために—誠実な科学者の心得

# 利益相反 (conflict of interest)

- 「利益相反とは、具体的には、外部との経済的な利益関係等によって、公的な研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から見なされかねない事態をいう。」(厚生労働省)



Conflict of Interest

No potential conflicts of interest are disclosed.

- 狭義の利益相反: 経済的な利害等に関するもの
- 責務違反: 兼業活動により複数の職務遂行責任が存在することにより、本務における判断が損なわれたり、本務を怠った状態になっている、又はそのような状態にあると第三者から懸念が表明されかねない状態

From 日本学術振興会: 科学の健全な発展のために—誠実な科学者の心得

# PubMedとは



- 世界の医学関連分野の文献データベース（インターネット版Medline）
- 1946年以降の世界の学術雑誌（約5700タイトル）に掲載された医学関連分野の論文を検索できる。
- NLM（米国国立医学図書館）内のNCBI（国立バイオテクノロジー情報センター）が作成しているデータベース「Entrez」の一部として公開されている。

# キーワードの入力①

- 熟語は「”」(ダブルクォーテーション)で括る。
- 大文字と小文字は区別しない。  
Ex. AIDS = aids
- ギリシャ文字は英語綴りにする  
Ex.  $\alpha$ →alpha,  $\beta$ →beta,  $\gamma$ →gamma
- 記号
  - ハイフン(-)→スペース( )
  - ‘!?’%\$などの記号は省略
  - ウムラウトやアクセント記号は省略
  - ローマ数字はアルファベットで入力



## キーワードの入力②



- ストップワードは検索対象外  
Ex. a, and, but, by, can, do, for, if, no, of, on, than, the, what
- 前方一致は語尾にアスタリスク「\*」をつける。  
Ex. 「bacter\*」→bacteria, bacterium, bacteriophageなど
- 不適切な用語で検索しても、自動的に正しい語に直して検索される(自動用語マッピング機能)  
Ex. 「mouth cancer」で検索→「mouth neoplasms」もヒット

- <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/>
- 参考文献リストなどで書誌情報が分かっている論文を探す場合は、「Single Citation Matcher」を使う。

d online

### Using PubMed

- [PubMed Quick Start Guide](#)
- [Full Text Articles](#)
- [PubMed FAQs](#)
- [PubMed Tutorials](#)
- [New and Noteworthy](#)

### PubMed Tools

- [PubMed Mobile](#)
- [Single Citation Matcher](#)**
- [Batch Citation Matcher](#)
- [Clinical Queries](#)
- [Topic-Specific Queries](#)



### More Resources

- [MeSH Database](#)
- [Journals in NCBI Databases](#)
- [Clinical Trials](#)
- [E-Utilities \(API\)](#)
- [LinkOut](#)

## PubMed Single Citation Matcher

Use this tool to find PubMed citations. You may omit any field.

Journal Help

Date  (month and day are optional)

Details

Volume	Issue	First page
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

Author name Help

Limit authors  Only as first author  Only as last author

Title words

Search [Clear form](#)

## PubMed Single Citation Matcher

Use this tool to find PubMed citations. You may omit any field.

Journal Help

Date  (month and day are optional)

Details

Volume	Issue	First page
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

Author name Help

Limit authors  Only as first author  Only as last author

Title words

Search [Clear form](#)



Article types  
Clinical Trial  
Review  
Customize ...

Text availability  
Abstract  
Free full text  
Full text

PubMed  
Commons  
Reader comments  
Trending articles

Publication dates  
5 years  
10 years  
Custom range...

Species  
Humans  
Other Animals

[Clear all](#)

[Show additional filters](#)

Format: Summary Sort by: Most Recent

### Search results

Items: 3

- [Osteopontin Is Essential for Type I Collagen Secretion in Reparative Dentin.](#)  
1. Saito K, Nakatomi M, Ida-Yonemochi H, **Ohshima H.**  
*J Dent Res.* 2016 Aug;95(9):1034-41. doi: 10.1177/0022034516645333. Epub 2016 Apr 28.  
PMID: 27126446  
[Similar articles](#)
- [Contribution of donor and host mesenchyme to the transplanted tooth germs.](#)  
2. Nakaki T, Saito K, Ida-Yonemochi H, Nakagawa E, Kenmotsu S, **Ohshima H.**  
*J Dent Res.* 2015 Jan;94(1):112-20. doi: 10.1177/0022034514556536. Epub 2014 Nov 6.  
PMID: 25376722  
[Similar articles](#)
- [Inhibition of apoptosis in early tooth development alters tooth shape and size.](#)  
3. Kim JY, Cha YG, Cho SW, Kim EJ, Lee MJ, Lee JM, Cai J, **Ohshima H,** Jung HS.  
*J Dent Res.* 2006 Jun;85(6):530-5.  
PMID: 16723650  
[Similar articles](#)

Send to Filters: [Manage Filters](#)

#### Find related data

Database:

Find items

#### Search details

"J Dent Res"[Journal] AND  
Ohshima H[Author]

Search

See more...

#### Recent Activity

[Turn Off](#) [Clear](#)

#### Search details

"J Dent Res"[Journal] AND  
Ohshima H[Author]

Search

See more...

Searchウィンドウにテキスト「テキスト  
+ [フィールド名]」を入力するとサー  
チできることに気付く。

PubMed.gov  
US National Library of Medicine  
National Institutes of Health

PubMed odontoblast

- odontoblast
- odontoblast differentiation
- odontoblast cell
- human odontoblasts
- odontoblast process
- wnt odontoblast

Date - MeSH  
Date - Modification  
Date - Publication  
EC/RN Number  
Editor  
Filter  
Grant Number  
ISBN  
Investigator  
Investigator - Full  
Issue  
Journal  
Language  
Location ID  
MeSH Major Topic  
MeSH Subheading  
MeSH Terms  
Other Term  
Pagination  
Pharmacological Action  
Publication Type  
Publisher  
Secondary Source ID  
Subject - Personal Name  
Supplementary Concept  
Text Word  
Title  
Title/Abstract  
Transliterated Title  
Volume

Advanced

Advancedをクリックしよう。

Using PubMed

PubMed.gov  
US National Library of Medicine  
National Institutes of Health

Advanced

New and Noteworthy

PubMed Advanced Search Builder

Use the builder below to create your search

Edit

Builder

All Fields

AND All Fields

Search or Add to history

[フィールド名]リストがプルダウンメニューに現れる。MeSH Termsに注目

## Builder

MeSH Terms adult stem cell [Show index list](#)

AND MeSH Terms dental pulp

AND All Fields

Search or [Add to history](#)

History

Search	Add to builder	
<a href="#">#11</a>	<a href="#">Add</a>	Search O
<a href="#">#10</a>	<a href="#">Add</a>	Search O

autolyses, dental pulp  
autolysis, dental pulp  
calcification, dental pulp  
calcifications, dental pulp  
capping, dental pulp  
cappings, dental pulp  
cavities, dental pulp  
cavity, dental pulp  
dental pulp  
dental pulp autolyses  
dental pulp autolysis  
dental pulp calcification

- MeSHとは医学件名種目表のことで、様々なレベルの検索を可能にする階層構造の用語セットである。
- NLMの専門職員が論文毎のMeSHを規定している。

## History

Search	Add to builder	Query	Items found	Time
<a href="#">#13</a>	<a href="#">Add</a>	Search (adult stem cell[MeSH Terms]) AND dental pulp[MeSH Terms]	<a href="#">131</a>	10:51:28
<a href="#">#11</a>	<a href="#">Add</a>	Search Ohshima H	<a href="#">668</a>	10:29:14
<a href="#">#10</a>	<a href="#">Add</a>	Search Ohshima Hayato	<a href="#">83</a>	10:27:46

## Medical Subject Headings

Controlled vocabulary thesaurus produced by the NATIONAL LIBRARY OF MEDICINE. It consists of sets of terms naming descriptors in a hierarchical structure that permits searching at various levels of specificity.

Year introduced: 2005



- Conserved Domains
- dbGaP
- dbVar
- EST
- Gene
- Genome
- GEO DataSets
- GEO Profiles
- GSS
- GTR
- HomoloGene
- Identical Protein Groups
- MedGen
- MeSH
- NCBI Web Site
- NLM Catalog
- Nucleotide
- OMIM
- PMC
- PopSet
- Probe
- Protein
- Protein C
- PubCher
- PubCher
- PubCher
- PubMed
- PubMed
- SNP
- Sparcle

データベースを「PubMed」から「MeSH」に切り替えてみる。

- Using PubMed
- PubMed Quick Start Guide
- Full Text Articles
- PubMed FAQs
- PubMed Tutorials
- New and Noteworthy
- Latest Literature
- New articles from highly acc

### PubMed

PubMed comprises more than 27 million o books. Citations may include links to full-t

#### PubMed Tools

- PubMed Mobile
- Single Citation Matcher
- Batch Citation Matcher

#### More Resources

- MeSH Database
- Journals in NCBI Databases
- Clinical Trials

ncbi.nlm.nih.gov/mesh/?term=stem+cell

MeSH

Create alert Limits Advanced Help

Summary 20 per page

### Search results

Items: 1 to 20 of 58

<< First < Prev Page 1 of 3 Next > Last >>

- [Stem Cells](#)  
1. Relatively undifferentiated cells that retain the ability to divide and proliferate throughout postnatal life to provide progenitor cells that differentiate into specialized cells.  
Year introduced: 2000
- [Stem Cell Research](#)  
2. Experimentation on **STEM CELLS** and on the use of **stem cells**.  
Year introduced: 2011
- [Stem Cell Niche](#)  
3. A particular zone of tissue composed of a specialized microenvironment where **stem cells** are retained in a undifferentiated, self-renewable state.  
Year introduced: 2000

PubMed Search Builder

Add to search builder AND

Search PubMed

Find related data

Database: Select

Find items



- [Cell Self Renewal](#)
- [Stem Cell Research](#)

# 階層構造の MeSHが現れる。

[All MeSH Categories](#)

[Anatomy Category](#)

[Cells](#)

## Stem Cells

[Adult Stem Cells](#)

[Adult Germline Stem Cells](#)

[Induced Pluripotent Stem Cells](#)

[Fetal Stem Cells](#)

[Hematopoietic Stem Cells](#)

[Hemangioblasts](#)

[Lymphoid Progenitor Cells +](#)

[Myeloid Progenitor Cells +](#)

[Peripheral Blood Stem Cells](#)

[Multipotent Stem Cells](#)

[Mesenchymal Stromal Cells](#)

[Myoblasts](#)

[Myoblasts, Cardiac](#)

[Myoblasts, Skeletal +](#)

[Myoblasts, Smooth Muscle](#)

[Neoplastic Stem Cells](#)

[Embryonal Carcinoma Stem Cells](#)

[Neural Stem Cells](#)

[Oogonial Stem Cells](#)

[Pluripotent Stem Cells](#)

[Embryonic Stem Cells +](#)

[Induced Pluripotent Stem Cells](#)

[Side-Population Cells](#)

[Totipotent Stem Cells](#)

Entry Terms:

- Cell, Stem
- Cells, Stem
- Stem Cell
- Progenitor Cells
- Cell, Progenitor
- Cells, Progenitor
- Progenitor Cell
- Mother Cells
- Cell, Mother
- Cells, Mother
- Mother Cell
- Colony-Forming Unit
- Colony Forming Unit
- Colony-Forming Units
- Colony Forming Units

Entry Termsを入力するとMeSHに誘導される。

自分の論文の  
MeSHを見てみよう。

- Format: Abstract
- Format
- Summary
  - Summary (text)
  - Abstract
  - Abstract (text)
  - MEDLINE
  - XML
  - PMID List

1034-41. doi: 10.1177/0022034516645333. Epub 2016 Apr 28.

**Essential for Type I Collagen Secretion in Reparative Dentin.**

Yonemochi H<sup>1</sup>, Ohshima H<sup>2</sup>.

a highly phosphorylated glycoprotein that is a prominent component of the mineralized extracellular matrix of bone. The secretion of OPN by immunocompetent cells plays a role in the differentiation of odontoblast-like cells during pulpal healing following tooth

- MH - Animals
- MH - Bone Regeneration/physiology
- MH - Collagen Type I/\*physiology
- MH - Dentin/growth & development/\*metabolism/physiology
- MH - Extracellular Matrix/metabolism
- MH - In Situ Hybridization
- MH - Mice
- MH - Mice, Inbred C57BL
- MH - Mice, Knockout
- MH - Odontoblasts/physiology
- MH - Osteopontin/\*physiology

- OTO - NOTNLM
- OT - dental cavity preparation
- OT - dentinogenesis
- OT - extracellular matrix proteins
- OT - mice (knockout)
- OT - odontoblasts
- OT - regeneration

View Full-Text Article  
at SAGE Publications

Save items

★ Add to Favorites

Similar articles

idine label-retaining  
al he [J Endod. 2013]

and osteopontin in  
hem Cytochem. 2011]

factor 1 expression  
hopro [J Endod. 2013]

functional significance of  
[Int J Dev Biol. 1995]

r matrix (ECM)  
ect Tissue Res. 2003]

See reviews...

See all...

OTとは、著者が規定したKey words



**Quiescent adult stem cells in murine teeth are regulated by Shh signaling.**Ishikawa Y<sup>1,2</sup>, Nakatomi M<sup>3</sup>, Ida-Yonemochi H<sup>4</sup>, Ohshima H<sup>5</sup>.

## + Author information

**Abstract**

The mechanisms regulating the maintenance of quiescent adult stem cells in teeth remain to be fully elucidated. Our aim is to clarify the relationship between BrdU label-retaining cells (LRCs) and sonic hedgehog (Shh) signaling in murine teeth. After prenatal BrdU labeling, mouse pups were analyzed during postnatal day 1 (P1) to week 5 (P5W). Paraffin sections were processed for immunohistochemistry for BrdU, Sox2, Gli1, Shh, Patched1 (Ptch1) and Ki67 and for in situ hybridization for Shh and Ptch1. Dense LRCs, Gli1-(+) cells and Ptch1-(+) cells were co-localized in the outer enamel epithelium of the apical bud and apical dental papilla of incisors. In developing molars, dense LRCs were numerous at P1 but then decreased in number over the course of odontogenesis and were maintained in the center of pulp tissue. Gli1-(+) cells were maintained in the pulp horn during the examined stages, while they increased in number and were maintained in the center of pulp tissue during P2-5W. Ptch1-(+) cells were localized in the pulp horn at P1 and increased in number in the center of the pulp after P3W. Shh mRNA was first expressed in the enamel epithelium and then shifted to odontoblasts and other pulp cells. Shh protein was distributed in the epithelial and mesenchymal tissues of incisors and molars. These findings suggest that quiescent dental stem cells are regulated by Shh signaling, and that Shh signaling plays a crucial role in the differentiation and integrity of odontoblasts during epithelial-mesenchymal interactions and dentinogenesis.

 [Quiescent adult stem cells in murine teeth are regulated by Shh signaling.](#)

1. Ishikawa Y, Nakatomi M, Ida-Yonemochi H, Ohshima H.  
Cell Tissue Res. 2017 May 26. doi: 10.1007/s00441-017-2632-x. [Epub ahead of print]  
PMID: 28547659  
[Similar articles](#)

 [Multiple Shh signaling centers participate in fungiform papilla and taste bud formation and maintenance.](#)

2. Liu HX, Ermilov A, Grachtchouk M, Li L, Gumucio DL, Dlugosz AA, Mistretta CM.  
Dev Biol. 2013 Oct 1;382(1):82-97. doi: 10.1016/j.ydbio.2013.07.022. Epub 2013 Aug 2.  
PMID: 23916850 **Free PMC Article**  
[Similar articles](#)

 [The relationship between cell proliferation and differentiation and mapping of putative dental pulp stem/progenitor cells during mouse molar development by chasing BrdU-labeling.](#)

3. Ishikawa Y, Ida-Yonemochi H, Nakakura-Ohshima K, Ohshima H.  
Cell Tissue Res. 2012 Apr;348(1):95-107. doi: 10.1007/s00441-012-1347-2. Epub 2012 Feb 29.  
PMID: 22370596  
[Similar articles](#)

## Full text links



## Save items

 Add to Favorites ▾

## Similar articles

Multiple Shh signaling centers participate in fungiform papilla and taste bud fc [Dev Biol. 2013]

The relationship between cell proliferation and differentiation and mappir [Cell Tissue Res. 2012]

Responses of BrdU label-retaining dental pulp cells to allogenic tooth [Histochem Cell Biol. 2011]

**Review** Enamel knots as signaling centers linking tooth morphogenesis: [Adv Dent Res. 2001]

**Review** Differentiation potential of dental papilla, dental pulp, and apical papilla prc [J Endod. 2010]

See reviews...

See all...

自分の論文の  
Similar articlesから  
ライバル研究者  
情報を得る。

# EndNoteを活用した文献データ管理法

## 文献管理・論文作成支援ソフト EndNote (エンドノート)



論文作成をもっと効率的に




文献データの収集・管理から  
参考文献リストの作成までをサポート

# EndNote X8

パッケージ版(CD-ROM付き) / ダウンロード版

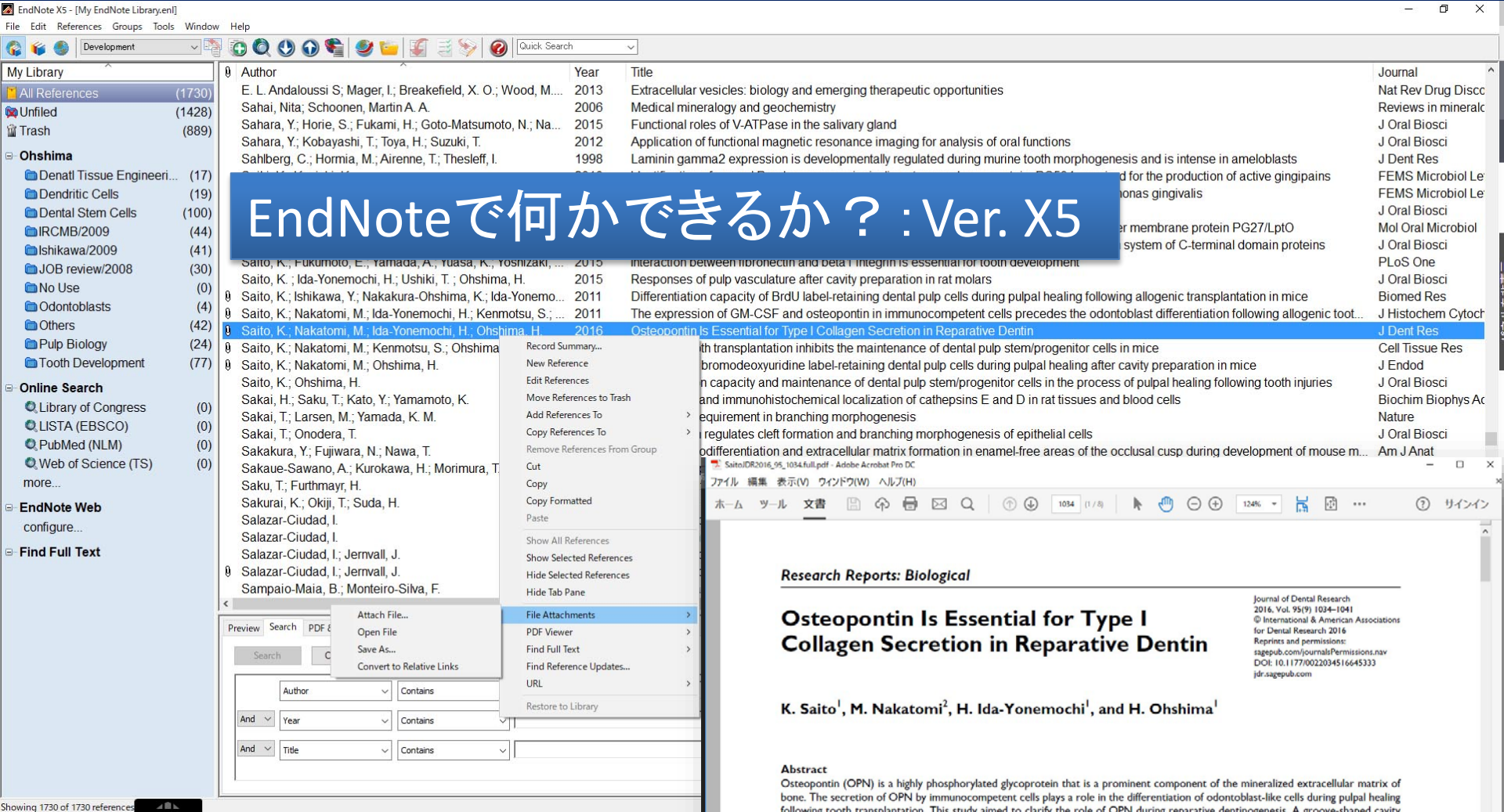
文献情報の収集・管理・出力まで、論文作成を一貫サポート。

論文執筆、こんなことでお困りではありませんか？

-  参考文献リストを投稿雑誌の規定（スタイル）に整えるのが面倒
-  引用順を変えたときの細かい手直しが大変
-  参考文献の書誌情報やフルテキストPDFがPCのあちこちに散らかっている

- 効率よく投稿雑誌のスタイルに対応した参考文献リストを作成したい。
- 投稿雑誌を変更したときに、参考文献リストを素早く他の投稿雑誌のスタイルに変更したい。
- フルテキストPDFの管理を効率的に行いたい。





# EndNoteで何かできるか? : Ver. X5

- 文献情報の収集と管理
- 全文PDF・各種ファイルの管理
- 文献情報の同期と共有
- 論文作成支援

## Research Reports: Biological

### Osteopontin Is Essential for Type I Collagen Secretion in Reparative Dentin

K. Saito<sup>1</sup>, M. Nakatomi<sup>2</sup>, H. Ida-Yonemochi<sup>1</sup>, and H. Ohshima<sup>1</sup>

**Abstract**  
 Osteopontin (OPN) is a highly phosphorylated glycoprotein that is a prominent component of the mineralized extracellular matrix of bone. The secretion of OPN by immunocompetent cells plays a role in the differentiation of odontoblast-like cells during pulpal healing following tooth transplantation. This study aimed to clarify the role of OPN during reparative dentinogenesis. A groove-shaped cavity was prepared on the mesial surface of the upper first molars of wild-type (WT) and *Opn* knockout (KO) mice, and the samples were collected at intervals of 1 to 14 d. The demineralized sections were processed for immunohistochemistry for *Ki67*, *nestin*, *OPN*, dentin sialoprotein (DSP), *integrin*  $\alpha_5\beta_1$ , and type I collagen; in situ hybridization for *Opn*, *colla1*, and dentin sialophosphoprotein (*Dspp*); and apoptosis assay. For the loss and gain of function experiments, an in vitro culture assay for evaluating dentin-pulp complex regeneration was performed. On day 1 in WT mice, odontoblasts beneath the affected dentin lost *nestin* immunoreactivity. On day 3, the expression of *Opn* was recognized at the mesial dentin pulp, and OPN was deposited along the predentin-dentin border. *Nestin*-positive newly differentiated odontoblast-like cells expressed both *Dspp* and *colla1* and showed positive immunoreactivity for *integrin*  $\alpha_5\beta_1$ , DSP, and type I collagen. Until day 14, reparative dentin formation continued next to the preexisting dentin at the mesial coronal pulp. In contrast, there was no reparative dentin in the *Opn* KO mice where *nestin*- and DSP-positive newly differentiated odontoblast-like cells lacked immunoreaction for type I collagen. The in vitro organ culture demonstrated that the administration of recombinant OPN rescued the type I collagen secretion by odontoblast-like cells in the *Opn* KO mice. The results suggested that the deposition of OPN at the calcification front is essential for the type I collagen secretion by newly differentiated odontoblast-like cells to form reparative dentin during pulpal healing following cavity preparation.

**Keywords:** dental cavity preparation, dentinogenesis, mice (knockout), odontoblasts, regeneration, extracellular matrix proteins

## Introduction

dentini-pulp complex is capable of repair after tooth inju... 2013). Furthermore, we succeeded in establishing an in vitro culture system for evaluating dentin-pulp complex regeneration (Ida-Yonemochi et al. 2014). In this model, most odonto-

# PDFから文献情報を取り込む

- New...
- Open
- Close
- Save Ctrl+S
- Save As...
- Save a Copy...
- Revert
- Export...
- Import** >
- Print... Ctrl+P
- Print Preview
- Print Set

Saiki, K.; Konishi, K.  
 Saito, K.; Fukumoto, E.; Yamada, J.  
 Saito, K.; Ida-Yonemochi, H.; Ushi  
 Saito, K.; Ishikawa, Y.; Nakakura-C  
 Saito, K.; Nakatomi, M.; Ida-Yoner  
 Saito, K.; Nakatomi, M.; Ida-Yoner  
 katomi, M.; Kenmotsu  
 katomi, M.; Ohshima,  
 Saito, K.; Ohshima, H.  
 Saiki, H.; Saiki, T.; Kato, Y.; Yama

Year	Title
2014	Assembly and function of P

File... Folder...

Import File

Import File:  Choose...

Import Option: PDF

Duplicates: Discard Duplicates

Text Translation: No Translation

Import Cancel

Reference Type: Journal Article

Plain Font Plain Size B I U P A<sup>1</sup> A<sub>1</sub> Σ

### Abstract

Osteopontin (OPN) is a highly phosphorylated glycoprotein that is a prominent component of the mineralized extracellular matrix of bone. The secretion of OPN by immunocompetent cells plays a role in the differentiation of odontoblast-like cells during pulpal healing following tooth transplantation. This study aimed to clarify the role of OPN during reparative dentinogenesis. A groove-shaped cavity was prepared on the mesial surface of the upper first molars of wild-type (WT) and Opn knockout (KO) mice, and the samples were collected at intervals of 1 to 14 d. The demineralized sections were processed for immunohistochemistry for Ki67, nestin, OPN, dentin sialoprotein (DSP), integrin alphavbeta3, and type I collagen; in situ hybridization for Opn, col1a1, and dentin sialophosphoprotein (Dspp); and apoptosis assay. For the loss and gain of function experiments, an in vitro culture assay for evaluating dentin-pulp complex regeneration was performed. On day 1 in WT mice, odontoblasts beneath the affected dentin lost nestin immunoreactivity. On day 3, the expression of Opn was recognized at the mesial dental pulp, and OPN was deposited along the predentin-dentin border. Nestin-positive newly differentiated odontoblast-like cells expressed both Dspp and col1a1 and showed positive immunoreactivity for integrin alphavbeta3, DSP, and type I collagen. Until day 14, reparative dentin formation continued next to the preexisting dentin at the mesial coronal pulp. In contrast, there was no reparative dentin in the Opn KO mice where nestin- and DSP-positive newly differentiated odontoblast-like cells lacked immunoreaction for type I collagen. The in vitro organ culture demonstrated that the administration of recombinant OPN rescued the type I collagen secretion by odontoblast-like cells in the Opn KO mice. The results suggested that the deposition of OPN at the calcification front is essential for the type I collagen secretion by newly differentiated odontoblast-like cells to form reparative dentin during pulpal healing following cavity preparation.

### Notes

Saito, K  
 Nakatomi, M  
 Ida-Yonemochi, H  
 Ohshima, H  
 J Dent Res. 2016 Aug;95(9):1034-41. doi: 10.1177/0022034516645333. Epub 2016 Apr 28.

### Research Notes

### URL

<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/27126446>

### File Attachments



SaitoJDR2016\_9...



# PubMedから文献情報を取り込む①

NCBI Resources How To Sign in to NCBI

PubMed.gov US National Library of Medicine National Institutes of Health

PubMed Ohshima Hayato Search

Create RSS Create alert Advanced Help

Article types: Clinical Trial, Review, Customized ...

Text availability: Abstract, Free full text, Full text

PubMed Commons, Reader comments, Trending articles

Publication dates: 5 years, 10 years, Custom range...

Species: Humans, Other Animals

Clear all Show additional filters

Format: Summary Sort by: Most Recent Per page: 20

Search results: Items: 1 to 20 of 83 Selected: 4

1. [Effects of pulpotomy using mineral trioxide aggregate on prostaglandin transporter and receptors in rat molars.](#)  
Ohkura N, Edanami N, Takeuchi R, Tohma A, Ohkura M, Yoshiba N, Yoshiba K, Ida-Yonemochi H, Ohshima H, Okiji T, Noiri Y. Sci Rep. 2017 Jul 31;7(1):6870. doi: 10.1038/s41598-017-07167-y. PMID: 28761141 Free PMC Article Similar articles

2. [Orthodontic force application upregulated pain-associated prostaglandin-I2 pathway-related gene expression in rat molars.](#)  
Ohkura M, Ohkura N, Yoshiba N, Yoshiba K, Ida-Yonemochi H, Ohshima H, Odontology. 2017 Jun 19. doi: 10.1007/s10266-017-0309-2. [Epub ahead of print] PMID: 28631175 Similar articles

3. [Quiescent adult stem cells in murine teeth are regulated by Shh signaling.](#)  
Ishikawa Y, Nakatomi M, Ida-Yonemochi H, Ohshima H. Cell Tissue Res. 2017 May 26. doi: 10.1007/s00441-017-2632-x. [Epub ahead of print] PMID: 28547659

Send to Filters: Manage Filters

related data Database: Select Find items

Search details

Send to Filters: Manage Filters

Choose Destination

File  Clipboard

Collections  E-mail

Order  My Bibliography

Citation manager

Download 3 items.

Format: MEDLINE

Sort by: Most Recent

Create File

pubmed\_result.txt について行う操作を選んでください。  
場所: ncbi.nlm.nih.gov

開く

保存



キャンセル



**Import File** ? X

Import File:  Choose...

**Import Option:** PubMed (NLM) v

Duplicates: Import All v

Text Translation: No Translation v

Import Cancel

File Edit References Groups Tools Window Help

- New...
- Open >
- Close Library Ctrl+W
- Save Ctrl+S
- Save As...
- Save a Copy...
- Revert
- Export...
- Import >**
  - File...**
  - Folder...
- Print... Ctrl+P
- Print Preview
- Print Setup...
- Compressed Library (.enlx) ...
- Exit Ctrl+Q

Author  
 Makishi, S.; ...  
 Saito, K.; Na...  
 Shigetani, Y.;...

**Choose An Import Filter** X

Name	Information Provider
PubMed (NLM)	National Library of Medicine
PubMed Central (NLM)	National Library of Medicine

pubmed v Find by ▶

Cancel **Choose**

File Name: PubMed (NLM).enf  
 Created: 2015年12月30日, 13:32:06  
 Modified: 2011年2月15日, 16:44:44  
 Based On:  
 Category: National Library of Medicine

ar Title

Import File:  Choose...

Import Option: Other Filters... v

Duplicates: Import All v

Text Translation: No Translation v

Import Cancel

File Edit References Groups Tools Window Help

My Library

- All References (1734)
- Imported References (4)**
- Unfiled (1432)
- Trash (884)

Author	Year	Title	Journal	Ref Type	URL	Last Updated
Ohkura, N.; ...	2017	Effects of pulpotomy using mineral tri...	Sci Rep	Journal Arti...		2017/09/09
Ohkura, M.; ...	2017	Orthodontic force application upregul...	Odontology	Journal Arti...		2017/09/09
Murakami, T...	2017	Isolation and characterization of lym...	Arch Oral B...	Journal Arti...		2017/09/09
Ishikawa, Y.; ...	2017	Quiescent adult stem cells in murine t...	Cell Tissue ...	Journal Arti...		2017/09/09

# PubMedから文献情報を取り込む②

The screenshot displays the EndNote application interface. On the left, the 'My Library' pane shows a folder named 'Ohshima' containing 77 references. The main window shows a list of three references:

Author	Year	Title	Journal	Ref Type
Makishi, S.; ...	2017	Osteopontin-deficiency disturbs dire...	Clin Implant...	Journal A
Saito, K.; Na...	2016	Osteopontin Is Essential for Type I C...	J Dent Res	Journal A
Shigetani, Y.;...	2016	GaAIAs laser-induced pulp mineraliz...	Oral Dis	Journal A

On the right, a context menu is open, with 'Find Full Text' highlighted in red. Below the reference list, the 'Online Search' pane is visible, showing a search query:

Search Remote Library:

The search criteria are: Author (Smith, A.B.) Contains Ohshima, H. And Year Contains 2016 And Title Contains osteopontin.

- ブラウザでPubMedを開かなくても、EndNoteのOnline Search画面から文献を検索することができる。
- OnlineでPDFファイルを探して、データベースにファイルを追加することができる。
- ファイルを任意のレコードにドラッグ&ドロップすることで添付することができる。



EN Go to EndNote

Insert Citation ▾

Edit & Manage Citation(s)

Edit Library Reference(s)

Style: JOralBiosci

Update Citations and Bibliography

Convert Citations and Bibliography ▾

Export to EndNote ▾

Preferences

EndNote Help

Citations Bibliography Tools

## EndNote X5 Find &amp; Insert My References

Ohshima

Find

1 The posi

2 the active

3 ↵

4 Yuta Seim

5 1General I

6 Hospital

7 • 文献をWord文書に引用する

8 • 投稿先のフォーマットに変更

10 3Departme &lt;

11 Bunkyo-k

12 ↵

13 Running h

14 ↵

15 Correspon

16 Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Niigata University Graduate School

Author	Year	Title
Ohshima	1990	Ultrastructural changes in odontoblasts and pulp capillaries following cavity preparation in rat molars
Ohshima	2008	Overview: Developmental biology of Hertwig's epithelial root sheath (HERS) and tooth root formation
Ohshima	2000	Transient expression of heat shock protein (Hsp)25 in the dental pulp and enamel organ during odontogenesis in rat molars
Ohshima	1994	The relationship between odontoblasts and immunocompetent cells during dentinogenesis in rat incisors: an immunohistochemical study using O
Ohshima	2003	Use of the term apical bud to refer to the apical end of the continuously growing tooth
Ohshima	1998	Cytochrome oxidase activity in the enamel organ during amelogenesis in rat incisors
Ohshima	1999	The distribution and ultrastructure of class II MHC-positive cells in human dental pulp
Ohshima	2002	Expression of heat-shock protein 25 immunoreactivity in the dental pulp and enamel organ during odontogenesis
Ohshima	2003	Pulpal regeneration after cavity preparation, with special reference to close spatio-relationships between odontoblasts and pulp cells

Ohshima	1990	Ultrastructural changes in odontoblasts and pulp capillaries following cavity preparation in rat molars
Ohshima	2008	Overview: Developmental biology of Hertwig's epithelial root sheath (HERS) and tooth root formation
Ohshima	2000	Transient expression of heat shock protein (Hsp)25 in the dental pulp and enamel organ during odontogenesis in rat molars
Ohshima	1994	The relationship between odontoblasts and immunocompetent cells during dentinogenesis in rat incisors: an immunohistochemical study using O
Ohshima	2003	Use of the term apical bud to refer to the apical end of the continuously growing tooth
Ohshima	1998	Cytochrome oxidase activity in the enamel organ during amelogenesis in rat incisors
Ohshima	1999	The distribution and ultrastructure of class II MHC-positive cells in human dental pulp
Ohshima	2002	Expression of heat-shock protein 25 immunoreactivity in the dental pulp and enamel organ during odontogenesis
Ohshima	2003	Pulpal regeneration after cavity preparation, with special reference to close spatio-relationships between odontoblasts and pulp cells

Reference Type: Journal Article  
 Record Number: 1310  
 Author: Ali, M. N.  
 Ejiri, S.  
 Kobayashi, T.  
 Anwar, R. B.  
 Oda, K.

Insert ▾

Cancel

Help

Library: My EndNote Library.enl

110 items in list

Undo Ctrl+Z  
 Cut Ctrl+X  
 Copy Ctrl+C  
 Paste Ctrl+V  
 Paste With Text Styles  
 Clear  
 Select All Ctrl+A  
 Copy Formatted Ctrl+K  
 Change Text... Ctrl+R  
 Font > (9)  
 Size > (0)  
 Style > (4)  
 Output Styles > (1)  
 Import Filters > (0)  
 Connection Files > (0)  
 Preferences... (4)  
 Others (42)  
 Pulp Biology (24)  
 Tooth Development (77)  
**Online Search**  
 Library of Congress (0)  
 LISTA (EBSCO) (0)  
 PubMed (NLM) (0)  
 Web of Science (TS) (0)  
 more...

- **EndNoteライブラリの同期**  
 ウェブ上のEndNoteアカウントを介して、EndNote X8のライブラリやiPad版EndNoteのデータを同期させることができる。
- **EndNoteライブラリの共有**  
 EndNote X8では、ウェブアカウントを介して最大100名のユーザー間でライブラリ全体を共有できる。

- Change Case
- Display Fields
- Display Fonts
- Duplicates
- EndNote Web
- Find Full Text
- Folder Locations
- Formatting
- Libraries
- PDF
- Reference Types
- Sorting
- Spell Check
- Temporary Citations
- Term Lists
- URLs & Links

Upgrade or create your two-year EndNote Web account to get the latest features.

Configure your EndNote Web account details

URL:

E-mail Address:

Password:

Download the EndNote Web browser plug-in to easily capture web page bibliographic data directly to your desktop or web library:

Showing 4 of 4 references in Group. (All References)



MENDELEY

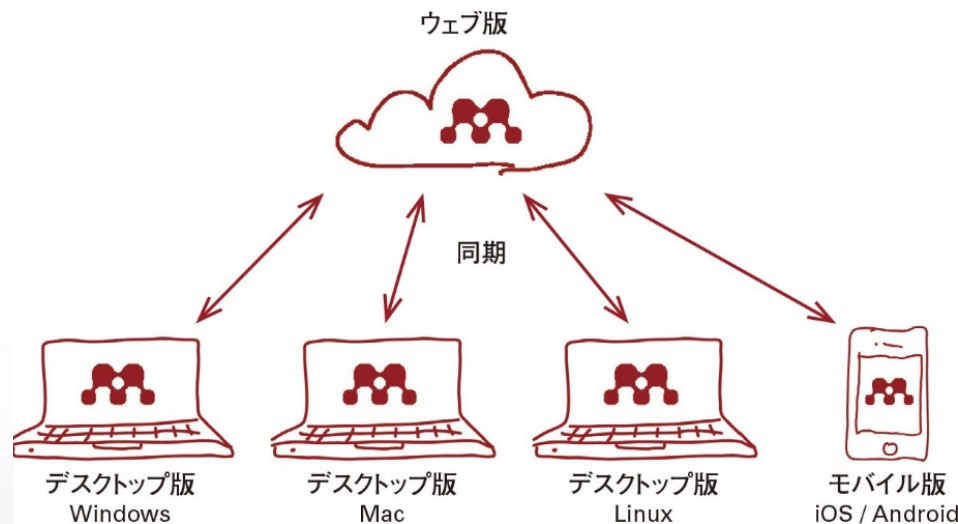
www.mendeley.com クイックレファレンスガイド 2017年4月

Mendeley (メンデレー) は、学術論文の管理とオンラインでの情報共有を目的とした無料の文献管理ツールです。Windows、Mac、Linuxに対応するデスクトップ版と、オンラインでどこからでも利用できるウェブ版を組み合わせて使用します。iOS、Androidに対応するモバイル版もあります。

- ライブラリに追加したPDFから書誌情報を自動的に抽出
- ハイライト、注釈機能を備えたPDFビューアと強力なPDF管理機能
- Web Importerで各種データベースから文献を直接インポート
- デスクトップ版とウェブ版の同期により複数の端末から同じ文献にアクセス
- Wordへの参考文献の挿入
- プライベートグループで他の研究者と文献を共有
- 個人プロフィールと研究者ネットワーク



無料の文献管理ツール & 研究者ネットワーク





# Empowering researchers to organize their references

- ユーザー登録 → Create a free account をクリック
- デスクトップ版のプログラムをダウンロードしてインストール → Download をクリック
- デスクトップ版を起動する
- ウェブ版に Sign in

Create a free account

## Reference management

Read, organize and cite all of your research from one library.

## Research network

Connect and collaborate with millions of researchers worldwide.

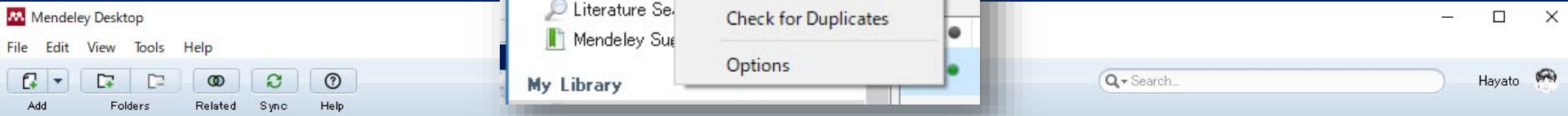
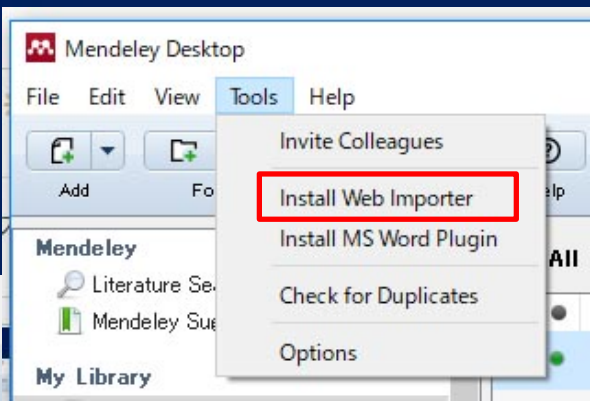
## Datasets

Store, share and cite your datasets with one secure online repository.

## Careers

Search for science and technology jobs in institutions worldwide.

# デスクトップ版



**Mendeley**

- Literature Search
- Mendeley Suggest

**My Library**

- All Documents
- Recently Added
- Recently Read
- Favorites
- Needs Review
- My Publications
- Unsorted
- Create Folder...

**Groups**

- Reading Books
- Create Group...

**Filter by Authors**

All

- Abukawa, Harutsugi
- Ali, Mir Nowazesh
- Alvarez-Silva, M
- Angelova, a
- Anwar, Rezwana Binte
- Arany, Szilvia
- Arthur, Agnes
- Asakura, Atsushi
- Asawa, Y.
- Asrican, Rose
- Bi, Yanming
- Cai, Jinglei
- Cho, Kyoung-Won
- Cho, Sung-Won
- Choi, Kang-Yell
- Coura, G S
- de Aguiar, C B N Mendes
- Domon, H.
- Driemel, Oliver
- Edanami, N.
- Ehriochiu, Driss

★	●	📄	Authors	Title	Year	Published In	Added
★	●		Seino, Yuta; Takano, Yoshiro; Ohshima, Hayato	Positional and ultrastructural changes in peripheral pulp capillaries correlate with the active phase of dentin ...	2017	Journal of Oral Biosciences	9 9
★	●		Ohkura, N; Edanami, N; Takeuchi, R; Tohma, A; O...	Effects of pulpotomy using mineral trioxide aggregate on prostaglandin transporter and receptors in rat mol...	2017	Scientific Reports	8 12
★	●		Seino, Y; Takano, Y; Ohshima, H.	Positional and ultrastructural changes in peripheral pulp capillaries correlate with the active phase of dentin ...	2017	Journal of Oral Biosciences	7 24
★	●		Ohsumi, T; Takenaka, S; Wakamatsu, R; Sakaue, Y...	Residual structure of streptococcus mutans biofilm following complete disinfection favors secondary bac...	2015	PLoS ONE	7 21
★	●		Makishi, S; Saito, K; Ohshima, H.	Osteopontin-deficiency disturbs direct osteogenesis in the process of achieving osseointegration following i...	2017	Clinical Implant Dentistry and ...	7 20
★	●		Ohshima, H; Nakagawa, E; Ida-Yonemochi, H.	O39-establishment of in vitro culture system for evaluation of the dentin-pulp complex regeneration w...	2010	Bulletin du Groupèment i...	7 20
★	●		Wakamatsu, R; Takenaka, S; Ohsumi, T; Terao, Y; Oh...	Penetration kinetics of four mouthrinses into Streptococcus mutans biofilms analyzed by direct ti...	2014	Clinical Oral Investigations	7 20
★	●		Ishikawa, Y; Nakakura-Ohshima, K; Kenmotsu, S...	Responses of dental pulp stem cells against exogenous stimuli	2007	European Cells and Materials	7 20
★	●		Murakami, T; Saitoh, I; Sato, M; Inada, E; Soda, M; Oda...	Isolation and characterization of lymphoid enhancer factor-1-positive deciduous dental pulp stem-like ce...	2017	Archives of Oral Biology	7 19
★	●		Li, L; Tang, Q; Nakamura, T; Suh, J-G; Ohshima, H; J...	Fine tuning of Rac1 and RhoA alters cuspal shapes by remodeling the cellular geometry	2016	Scientific Reports	7 19
★	●		Saitoh, I; Sato, M; Soda, M; Inada, E; Iwase, Y; Murak...	Tissue-specific stem cells obtained by reprogramming of Non-obese diabetic (NOD) mouse-derived pancre...	2016	PLoS ONE	7 19
★	●		Takenaka, S; Oda, M; Domon, H; Ohsumi, T; Sur...	Vizantin inhibits bacterial adhesion without affecting bacterial growth and causes Streptococcus mutans b...	2016	Biochemical and Biophysical R...	7 19
★	●		Ohkura, Mariko; Ohkura, Naoto; Yoshida, Nagako; Y...	Orthodontic force application upregulated pain-associated prostaglandin-I2/PGI2-receptor/TRPV1 p...	2017	Odontology	7 12
★	●		Ohkura, M; Ohkura, N; Yoshida, N; Yoshida, K; Id...	Orthodontic force application upregulated pain-associated prostaglandin-Kinf>2</inf>/PGKinf>2</inf>	2017	Odontology	7 6
★	●		Goldberg, M; Smith, a. J.	Cells and Extracellular Matrices of Dentin and Pulp: a Biological Basis for Repair and Tissue Engineering	2004	Critical Reviews in Oral Biolog...	10/12/12
★	●		Coura, G S; Garcez, R C; de Aguiar, C B N Mendes; Al...	Human periodontal ligament: a niche of neural crest stem cells.	2008	Journal of periodontal re...	10/12/12
★	●		Morszeck, Christian; Schmalz, Gottfried; Reich...	Somatic stem cells for regenerative dentistry.	2008	Clinical oral investigations	10/12/12
★	●		Cho, Kyoung-Won; Cai, Jinglei; Kim, Hyun-Yi; Hos...	ERK activation is involved in tooth development via FGF10 signaling.	2009	Journal of experimental ...	10/12/12
★	●		Cho, Sung-Won; Lee, Hyun-A; Cai, Jinglei; Lee, Min-J...	The primary enamel knot determines the position of the first buccal cusp in developing mice molars.	2007	Differentiation; research in bi...	10/12/12

**Details** | Notes | Contents

These details need reviewing. You can mark them as correct, or search the Mendeley catalog.

Details are Correct | Search

Type: Journal Article

**Positional and ultrastructural changes in peripheral pulp capillaries correlate with the active phase of dentin deposition and mineralization in rat molars**

Authors: Y. Seino, Y. Takano, H. Ohshima

View research catalog entry for this paper

Journal: *Journal of Oral Biosciences*

Year: 2017

Volume: 59

Issue: 3

Pages: 163-171

**Abstract:**

**Tags:**

**Author Keywords:**

**Date Accessed:** 2017-09-09

**Month:** 8月

Download PDF Export

Search ScienceDirect Advanced

- Outline
- Abstract
- Keywords
- 1. Introduction
- 2. Materials and methods
- 3. Results
- 4. Discussion
- 5. Conclusions
- Ethical approval
- Conflicts of interest



Original Article  
**Positional and capillaries cor and mineraliza**

You have selected 1 citation for export.

Direct export

Save to Mendeley

Save to Refworks

Export file

Format

pulp deposition

Recommended articles  
 Differentiation capacity and maintenance of dental...  
 Journal of Oral Biosciences, Volume 59, Issue 2, 2017

Web Library  
 Choose folders or groups Save

Download PDFs if available

Journal Article Edit

**Positional and ultrastructural changes in peripheral pulp capillaries correlate with the active phase of dentin deposition and mineralization in rat molars**

Seino Y, Takano Y, Ohshima H

Journal of Oral Biosciences  
 2017 vol: 59 (3) pp: 163-171

DOI 10.1016/j.job.2017.05.006

ISSN 13490079

Date Accessed: 2017-09-11

URLS  
[linkinghub.elsevier.com/retrieve/pii/S1349007917300579](http://linkinghub.elsevier.com/retrieve/pii/S1349007917300579)

Are these details wrong? Let us know

Mendeley Desktop

File Edit View Go Tools Help

Select Pan Note Highlight Color Zoom Zoom To Fit Fullscreen Sync Help

My Library Positional and ultrastru...

Journal of Oral Biosciences 59 (2017) 163–171

Contents lists available at ScienceDirect

**Journal of Oral Biosciences**

journal homepage: [www.elsevier.com/locate/job](http://www.elsevier.com/locate/job)

Original Article

**Positional and ultrastructural changes in peripheral pulp capillaries correlate with the active phase of dentin deposition and mineralization in rat molars**

Yuta Seino<sup>a,b</sup>, Yoshiro Takano<sup>c</sup>, Hayato Ohshima<sup>b,\*</sup>

<sup>a</sup> General Dentistry and Clinical Education Unit, Niigata University Medical and Dental Hospital, 2-5274 Gakkocho-dori, Chuo-ku, Niigata 951-8514, Japan  
<sup>b</sup> Division of Anatomy and Cell Biology of the Hard Tissue, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, 2-5274 Gakkocho-dori, Chuo-ku, Niigata 951-8514, Japan  
<sup>c</sup> Department of Cell Biology and Neuroscience, Juntendo University, 2-1-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8421, Japan

**ARTICLE INFO**

Article history:  
 Received 26 January 2017  
 Received in revised form 15 May 2017  
 Accepted 21 May 2017  
 Available online 23 June 2017

**Keywords:**  
 Capillaries  
 Dentinogenesis  
 Molar  
 Odontoblasts  
 Rat (Wistar)

**ABSTRACT**

**Objectives:** The mechanisms regulating positional and ultrastructural changes in peripheral pulp capillaries during dentinogenesis have yet to be fully elucidated. This study aimed to clarify the relationship between the spatiotemporal localization and ultrastructure of peripheral capillaries and the dentin deposition and mineralization rate.

**Methods:** Maxillary first molars of 5- to 100-day-old Wistar rats were collected and prepared for transmission electron microscopy. The animals who had received multiple injections of lead disodium ethylenediaminetetraacetic acid were analyzed for dentin deposition rate. Non-demineralized maxillae were examined with an electron probe micro analyzer.

**Results:** The dentin deposition rate at the coronal position where dentinogenesis began on day 5 reached a peak during days 10–30, gradually decreased, and ceased on day 60. The mineral content of enamel was low on day 10 (the secretory stage of amelogenesis), drastically increased on day 15 (the maturation stage of amelogenesis), and reached a maximum and persisted until day 30. The dentin underneath the maturing enamel exhibited a synchronous increase in mineral content. The distance between the mineralization front and peripheral capillaries remained almost constant, suggesting that the positional changes of capillaries into the odontoblast layer were not due to migration of capillaries but could be attributed to an increase in the height of the odontoblast layer. Endothelial fenestrations became prominent in the most active phase of dentin deposition and mineralization.

**Conclusions:** These results indicate that the positional and ultrastructural changes in peripheral capillaries correlate with the active phase of dentin deposition and mineralization.



# ウェブ版

**MY LIBRARY**

+ Add

All Documents

Favorites

My Publications

Recently Read

Recently Added

FOLDERS

+ Create Folder...

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Add to	Delete	Export to MS Word		Added (newest)
<input checked="" type="checkbox"/>	★				Positional and ultrastructural changes in peripheral pulp capillaries correlate with the active phase of dentin deposition an... Seino Y, Takano Y, Ohshima H in Journal of Oral Biosciences (2017)	9 Sep
<input type="checkbox"/>	★				Effects of pulpotomy using mineral trioxide aggregate on prostaglandin transporter and receptors in rat molars Ohkura N, Edanami N, Takeuchi R, et. al. in Scientific Reports (2017)	12 Aug
<input type="checkbox"/>	★				Positional and ultrastructural changes in peripheral pulp capillaries correlate with the active phase of dentin deposition an... Seino Y, Takano Y, Ohshima H in Journal of Oral Biosciences (2017)	24 Jul
<input type="checkbox"/>	★				Residual structure of streptococcus mutans biofilm following complete disinfection favors secondary bacterial adhesion a... Ohsumi T, Takenaka S, Wakamatsu R, et. al. in PLoS ONE (2015)	21 Jul
<input type="checkbox"/>	★				Osteopontin-deficiency disturbs direct osteogenesis in the process of achieving osseointegration following immediate pla... Makishi S, Saito K, Ohshima H in Clinical Implant Dentistry and Related Research (2017)	20 Jul
<input type="checkbox"/>	★				O39-establishment of in vitro culture system for evaluation of the dentin-pulp complex regeneration with special reference... Onshima H, Nakagawa E, Ida-Yonemochi H in Bulletin du Groupèment international pour la recherche scientifique en stomatologie & odontologie (2010)	20 Jul

**Details** | Notes

Journal Article Edit

Positional and ultrastructural changes in peripheral pulp capillaries correlate with the active phase of dentin deposition and mineralization in rat molars

Seino Y, Takano Y, Ohshima H

**Journal of Oral Biosciences**  
2017 vol: 59 (3) pp: 163-171

DOI 10.1016/j.job.2017.05.006

ISSN 13490079

**MY LIBRARY**

All Documents

Favorites

My Publications

Recently Read

Recently Added

FOLDERS

+ Create Folder...

**GROUP**

**TRASH**

+ Create Folder...

**GROUPS**

**TRASH**

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Add to	Delete	Export to MS Word		Added (newest)
<input type="checkbox"/>	★				Effects of pulpotomy using mineral trioxide aggregate on prostaglandin transporter and receptors in rat molars Ohkura N, Edanami N, Takeuchi R, et. al. in Scientific Reports (2017)	12 Aug
<input checked="" type="checkbox"/>	★				Positional and ultrastructural changes in peripheral pulp capillaries correlate with the active phase of dentin deposition an... Seino Y, Takano Y, Ohshima H in Journal of Oral Biosciences (2017)	24 Jul
<input type="checkbox"/>	★				Residual structure of streptococcus mutans biofilm following complete disinfection favors secondary bacterial adhesion a... Ohsumi T, Takenaka S, Wakamatsu R, et. al. in PLoS ONE (2015)	21 Jul
<input type="checkbox"/>	★				Osteopontin-deficiency disturbs direct osteogenesis in the process of achieving osseointegration following immediate pla... Makishi S, Saito K, Ohshima H in Clinical Implant Dentistry and Related Research (2017)	20 Jul
<input type="checkbox"/>	★				O39-establishment of in vitro culture system for evaluation of the dentin-pulp complex regeneration with special reference... Onshima H, Nakagawa E, Ida-Yonemochi H in Bulletin du Groupèment international pour la recherche scientifique en stomatologie & odontologie (2010)	20 Jul
<input type="checkbox"/>	★				Penetration kinetics of four mouthrinses into Streptococcus mutans biofilms analyzed by direct time-lapse visualization Wakamatsu R, Takenaka S, Ohsumi T, et. al. in Clinical Oral Investigations (2014)	20 Jul
<input type="checkbox"/>	★				Responses of dental pulp stem cells against exogenous stimuli Ishikawa Y, Nakakura-Ohshima K, Kenmotsu S, et. al. in European Cells and Materials (2007)	20 Jul
<input type="checkbox"/>	★				Isolation and characterization of lymphoid enhancer factor-1-positive deciduous dental pulp stem-like cells after transfecti... Murakami T, Saitoh I, Sato M, et. al. in Archives of Oral Biology (2017)	19 Jul
<input type="checkbox"/>	★				Fine tuning of Rac1 and RhoA alters cuspal shapes by remodeling the cellular geometry Li L, Tang Q, Nakamura T, et. al. in Scientific Reports (2016)	19 Jul
<input type="checkbox"/>	★				Tissue-specific stem cells obtained by reprogramming of Non-obese diabetic (NOD) mouse-derived pancreatic cells conf... Saitoh I, Sato M, Soda M, et. al. in PLoS ONE (2016)	19 Jul
<input type="checkbox"/>	★				Vizantin inhibits bacterial adhesion without affecting bacterial growth and causes Streptococcus mutans biofilm to detach ...	19 Jul

**Details** | Notes

Journal Article Edit

Positional and ultrastructural changes in peripheral pulp capillaries correlate with the active phase of dentin deposition and mineralization in rat molars

Seino Y, Takano Y, Ohshima H

**Journal of Oral Biosciences**  
2017

© 2017 Japanese Association for Oral Biology. Objectives: The mechanisms regulating positional and ultrastructural changes in peripheral pulp capillaries during dentinogenesis have yet to be fully elucidated. This study aimed to clarify the relationship between the spatiotemporal localization and ultrastructure of peripheral...

DOI 10.1016/j.job.2017.05.006

ISSN 13490079

**FILES**

2017-Positional\_and\_ultrastructural\_ch...  
6.81 MB

2017-09-09

4900791730057

deley Web Library 25

## 2. デスクトップ版

デスクトップ版では、PDFをドラッグ&ドロップするだけで書誌情報が自動的に抽出されます。ハイライトや注釈が可能なPDFビューア、強力なPDFの管理機能も備えています。

### PDFのインポート

★ ☆ ☆	Authors	Title	Year	Published In	Added
★ ☆ ☆	Lithari, Chrysa, Sánchez-García, Carolina, Ruhnan, ...	Large-scale network-level processes during entrainment.	2016	Brain Research	16/02/22
★ ☆ ☆	Nicola, Fabrício do Couto, Marques, Marília Rossato, ...	Neuroprotector effect of stem cells from human exfoliated deciduous teeth transplant...	2017	Brain Research	1:32午後
★ ☆ ☆	Takahashi, Kazutoshi, Tanabe, Koji, Ohnuki, Mar...	Induction of pluripotent stem cells from adult human fibroblasts by defined factors.	2007	Cell	16/02/22
★ ☆ ☆	Takahashi, Kazutoshi, Yamanaka, Shinya	Induction of pluripotent stem cells from mouse embryonic and adult fibroblast cultures by d...	2006	Cell	14/12/30
★ ☆ ☆	Yamanaka, Shinya	A Fresh Look at iPS Cells	2009	Cell	15/08/20
★ ☆ ☆	Wang, Su, Bates, Janna, Li, Xiaojie, Schanz, Steven, C...	Human iPSC-derived oligodendrocyte progenitor cells can myelinate and rescue a...	2013	Cell Stem Cell	14/12/30
★ ☆ ☆	Shimajima, Keiko, Inoue, Takahito, Imai, Yuki, Arai, ...	Reduced PLP1 expression in induced pluripotent stem cells derived from a Peliz...	2012	Journal of Myelination	14/12/30
★ ☆ ☆	Haak, Laurel L, Fenner, Martin, Pastores, Laura, P...	ORCID: A system to uniquely identify researchers	2008	Nature	16/11/19
★ ☆ ☆	Park, I-H, Zhao, R, West, J.A, Yabuuchi, A, Hsu, H...	Reprogramming of human somatic cells to pluripotency with defined factors.	2008	Nature	16/11/19
★ ☆ ☆	Hu, Bao Yang, Du, Zhong Wei, Zhang, Su Chun	Differentiation of human oligodendrocytes from pluripotent stem cells.	2009	Nature protocols	14/12/30
★ ☆ ☆	Ohta, Shieki, Imaizumi, Yoichi, Okada, Yohei, Aka...	Generation of human melanocytes from induced pluripotent stem cells.	2011	PloS one	14/12/30
★ ☆ ☆	Nori, Satoshi, Okada, Yohei, Yasuda, Akimasa, Tsuji, O...	Grafted human-induced pluripotent stem-cell-derived neurospheres promote motor functi...	2011	Proceedings of the National ...	14/12/30
★ ☆ ☆	Ceusters, J, Lejeune, J-P, Sandersen, C, Niesten, A...	From skeletal muscle to stem cells: an innovative and minimally-invasive process t...	2017	Scientific Reports	1:26午後
★ ☆ ☆	Young, Lee, Min, Hackebart, Sandra, Green, Kari L, Lurr...	Survival of human embryonic stem cells implanted in the guinea pig auditory epithelium	2017	Scientific Reports	1:26午後
★ ☆ ☆	Sharma, Himanshu, Mourya, Mohini, Guin, Debanjan, J...	Diisopropyl azodicarboxylate mediated selective dehydrogenation of 2-amino-3-cy...	2017	Tetrahedron Letters	1:26午後
★ ☆ ☆	山中, 伸弥	iPS細胞研究の現状と医療応用に向けた取り組み	2014	日本小児外科学会雑誌	14/12/30
★ ☆ ☆	高橋, 昭吉, 恒吉, 有紀	Scopusの著者識別子ORCIDとORCIDとの連携(特集 研究者識別子ORCID)	2014	薬学図書館	14/12/30

Mendelyに文献を追加する最も簡単な方法は、PDFをインポートすることです。

- 1 個別のPDFを中央フレームにドラッグ&ドロップします。または [File] メニュー → [Add Files...] で追加します。
- 2 PDFが入ったフォルダを中央フレームにドラッグ&ドロップします。または [File] メニュー → [Add Folder...] で追加します。
- 3 Watched Folderを利用すると、指定したフォルダにPDFを入れるだけで、自動的にMendelyに追加されます。電子ジャーナルから特定のフォルダにPDFをダウンロードしている場合に便利な機能です。

Watched Folderは以下で指定します。

- [File] メニュー → [Watch Folder...]

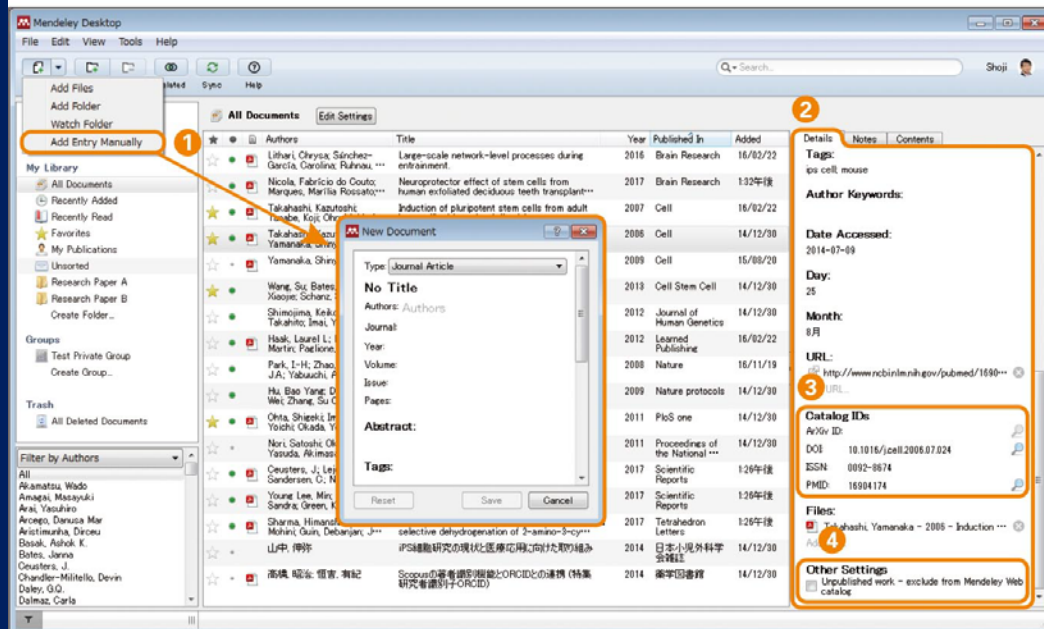
または

- Windows : [Tools] メニュー → [Options] → [Watched Folders] タブ
- Mac : [Mendely Desktop] メニュー → [Preferences...] → [Watched Folders] タブ

- 4 PDFから自動的に書誌情報が抽出され、右フレームに表示されます。

- 1 PDFファイル
- 2 PDFが入ったフォルダ
- 3 Watched Folder





## 書誌情報の編集

- 1 マニュアルで情報を入力する場合は、[File]メニューから [Add Entry Manually...] を選択します。
- 2 自動的に抽出された書誌情報が不完全な場合は、右フレームのDetailsタブで編集することができます。
- 3 文献のArXiv ID、DOI、PMIDで書誌情報を検索することもできます。
- 4 執筆中の原稿など、Mendeleyのオンラインカタログに索引付けされたくない場合は、[Unpublished work – exclude from Mendeley Web catalog] をチェックします。

## ライブラリの管理

- 5 検索ボックスで、ライブラリ内の文献を検索できます。  
▼をクリックして、検索項目を指定することもできます。
- 6 My Library欄には以下のフォルダがあります。

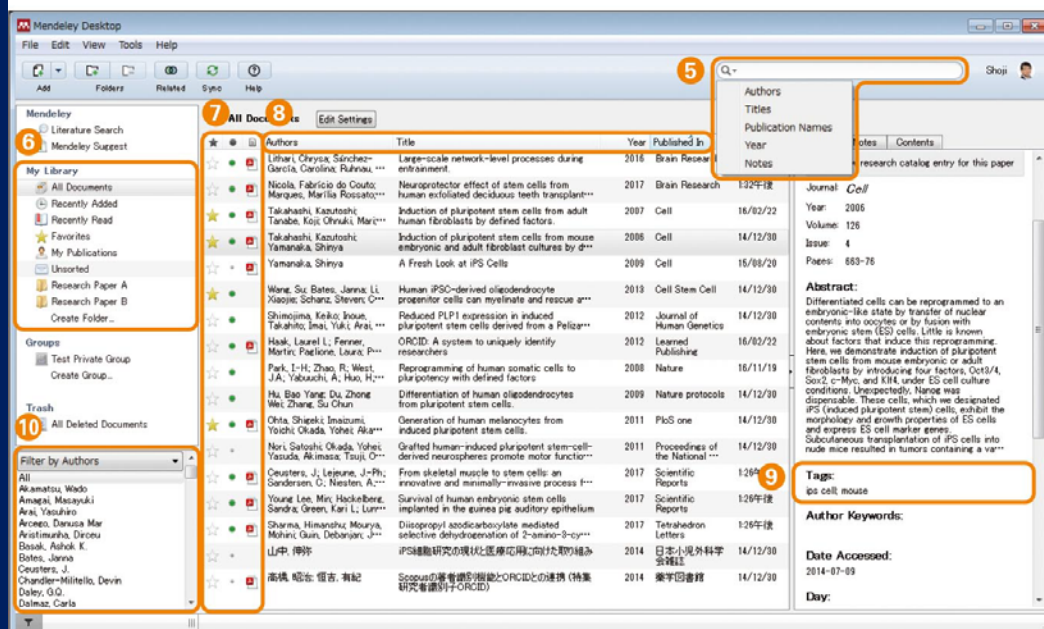
- All Documents 全文献
- Recently Added 最近追加した文献
- Recently Read 最近読んだ文献
- Favorites お気に入りの文献
- My Publications 自分の発表論文
- Unsorted 未分類の文献

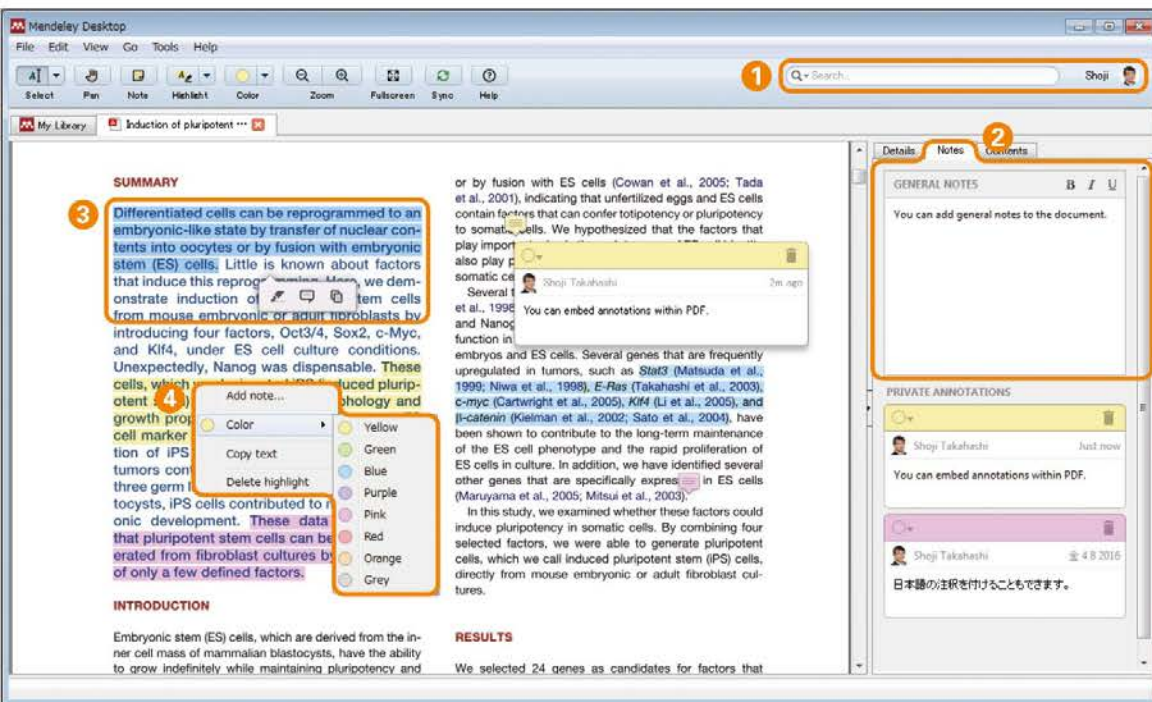
[Create Folder...] で新しいフォルダを作成できます。

- 7 文献の前には以下のアイコンが付いています。

- お気に入りの文献
- 未読の文献
- PDFが添付されている文献
- ウェブからPDFをダウンロード可能

- 8 著者名、タイトル、出版年、出版物名、文献の追加日で並べ替えることができます。
- 9 各文献にタグを付与し、文献を分類することができます。
- 10 著者キーワード、著者名、タグ、出版物名でフィルタをかけることができます。





MendeleyはPDFビューアを備えています。テキストをハイライトしたり、注釈を付けたりすることができます。

- ① 検索ボックスにキーワードを入力してPDF内を検索することができます。入力に合わせて、検索語がハイライトされます。
- ② 右フレームのNotesタブに注釈を入力することができます。この注釈はライブラリの検索の対象です。
- ③ テキストを選択すると、テキストをハイライトしたり、注釈を付けたりすることができます。この注釈はライブラリの検索の対象外です。
- ④ ハイライトや注釈の色を変えることができます。

### 他の文献管理ツールからのデータのエクспорт方法

#### EndNoteの場合

1. [File] メニューから [Export...] を選択する
2. [Export file name:] ダイアログボックスで以下を指定する
  - ファイルの種類として [XML (\*.xml)]
  - Output style として [Show All Fields]
  - [Export Selected References] のチェックを外す
3. [保存] をクリックする

#### EndNote Basic (Web) の場合

1. [フォーマット] タブから [エクспорт] を選択する
2. [レファレンス] ドロップダウンリストからエクポートするレコードを選択する
3. [スタイル] ドロップダウンリストから [RefMan (RIS) Export] を選択する
4. [保存] ボタンをクリックし、ファイル (exportlist.txt) を保存する

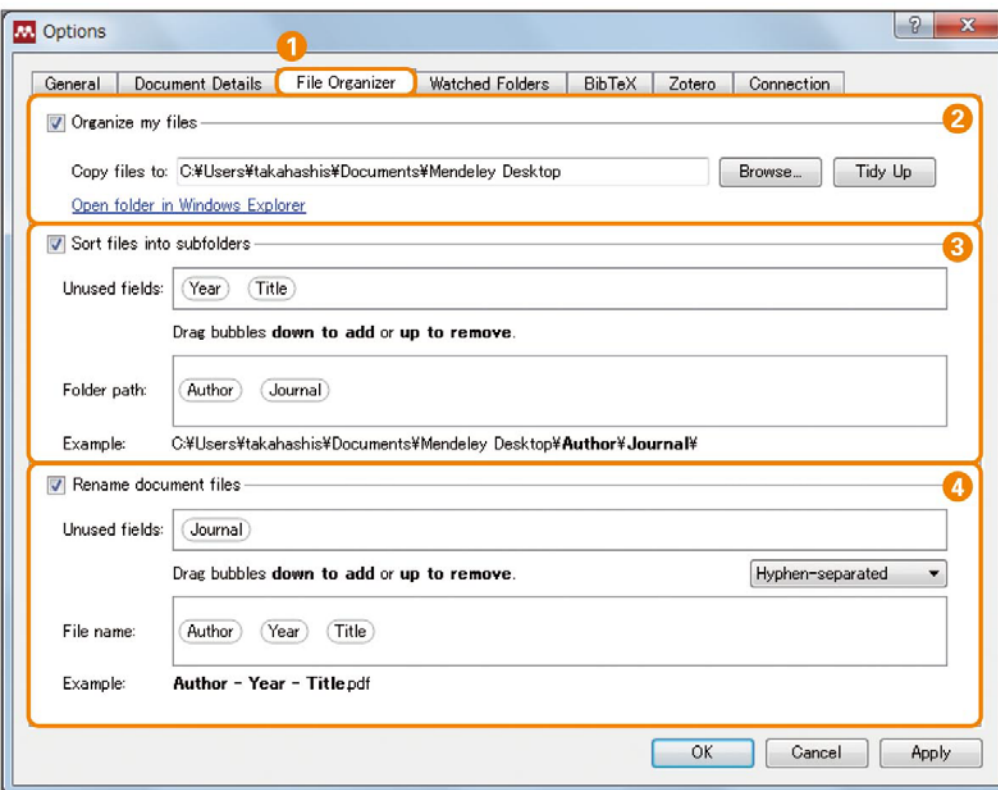
#### RefWorksの場合

1. [レコード] メニューから [エクспорт] を選択する
2. [レコードをエクポート] ポップアップウィンドウの Select an Export Format で [Bibliographic Software (EndNote, Referece Manager, ProCite)] を選択する
3. [↓レコードをエクポート] をクリックする
4. 拡張子 .ris で保存する

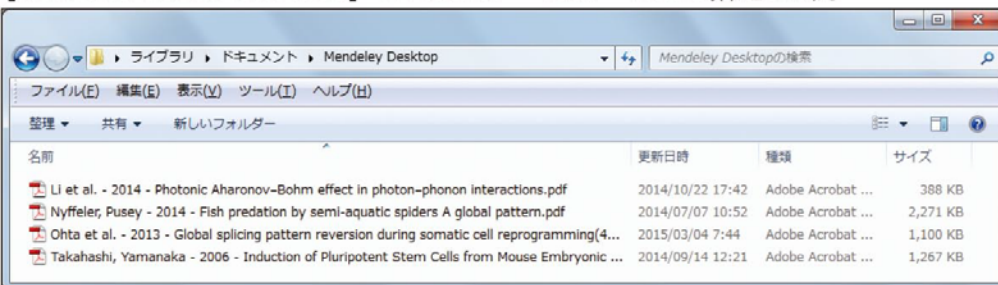
※ エクспортした文献をMendeleyにインポートするには、デスクトップ版の [File] メニュー → [Import...] を選択し、該当するファイルタイプを選択してください。



# PDFの管理



[Rename document files] で Author - Year - Titleを指定した例：



初期設定では、MendeleyにPDFをインポートしてもMendeley内にPDFのコピーは作成されません。したがって、Mendeleyにインポートした後で元のPDFを削除すると、MendeleyからもPDFは削除されてしまいます。

1. MendeleyにインポートしたPDFを管理するには、File Organizerを使用します。
    - Windows : [Tools] メニュー → [Options] → [File Organizer] タブ
    - Mac : [Mendeley Desktop] メニュー → [Preferences...] → [File Organizer] タブ
  2. [Organize my files] をチェックすると、指定したフォルダに、MendeleyにインポートしたPDFがコピーされます。
  3. [Sort files into subfolders] をチェックすると、②で指定したフォルダ内に、Author、Title、Year、Journalで分類したサブフォルダが作成され、PDFが保存されます。
  4. [Rename document files] をチェックすると、PDFの名前を、Author、Title、Year、Journalを使ったわかりやすいファイル名に自動的に変更することができます。
- ※ 初期設定ではすべてオフです。

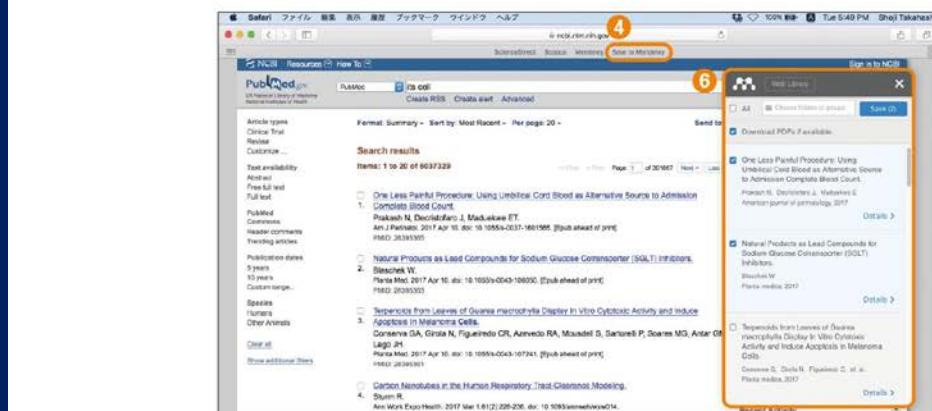
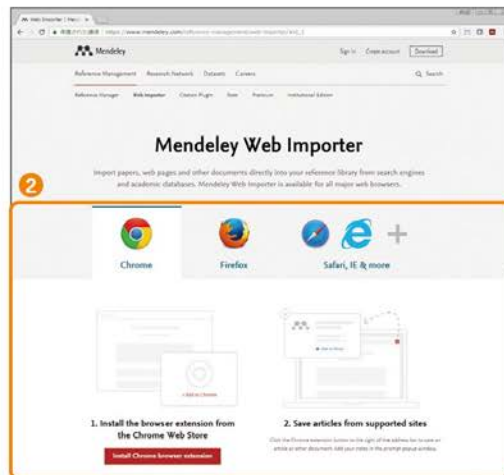
### 3. ウェブ版

ウェブ版では、Web Importerを使用して各種データベースや電子ジャーナルから文献を直接インポートすることができます。インポートした文献はライブラリで確認することができます。

#### ライブラリの表示

The screenshot shows the Mendeley Web Library interface. The browser address bar shows the URL https://www.mendeley.com/library/. The interface includes a top navigation bar with 'Feed', 'Library', 'Suggest', 'Stats', 'Groups', 'Data', and 'Careers'. A search box labeled 'Library search' is present. On the left, there is a sidebar with 'MY LIBRARY' and 'FOLDERS'. The main area displays a list of documents with columns for 'Added (newest)', 'Added (oldest)', 'Title (a - z)', and 'Title (z - a)'. A detailed view of a document titled 'A Fresh Look at iPS Cells' is shown on the right, with an 'Edit' button. Numbered callouts (1-5) highlight key features: 1. The 'Library' tab in the top navigation bar. 2. The search box. 3. The '+ Add' button in the sidebar. 4. The sorting dropdown menu. 5. The 'Edit' button in the document details view.

- 1 トップメニューから [Library] を選択すると、ウェブ版に登録されている文献を確認することができます。
- 2 検索ボックスで、ライブラリ内の文献を検索できます。
- 3 [+ Add] で、PDFを追加したり、マニュアルで情報を入力したりすることができます。  
デスクトップ版と同様に、中央フレームに個別のPDFやPDFが入ったフォルダをドラッグ&ドロップすることによって文献を追加することもできます。
- 4 文献の追加日およびタイトルで文献を並べ替えることができます。
- 5 [Edit] で書誌情報を編集することができます。



## Web Importerのインストール

1 デスクトップ版の [Tools] メニューから [Install Web Importer] を選択するか、ブラウザで下記URLにアクセスし、Web Importerのインストール画面を開きます。  
[www.mendeley.com/import](http://www.mendeley.com/import)

2 ブラウザに応じた設定方法が示されるので、指示に従ってインストールしてください。

ChromeまたはFireFoxの場合は、ブラウザエクステンションをインストールします。

SafariまたはInternet Explorerの場合は、ブックマークレット [Save to Mendeley] をブラウザのツールバーにドラッグ&ドロップします。

## 文献の追加

Web Importerは、各種のデータベースや電子ジャーナルに対応しています。Mendeleyに追加したい文献が見つかったら、Web Importerを実行します。

3 ブラウザがChromeまたはFireFoxの場合は、ブラウザエクステンションのアイコンをクリックします。

4 ブラウザが SafariまたはInternet Explorerの場合は、ツールバーの [Save to Mendeley] をクリックします。

画面の右上にポップアップウィンドウが表示されます。

5 個別の論文ページの場合は、[Save] をクリックして保存します。

6 検索結果ページの場合は、[Save All] ですべての文献を保存するか、必要な文献を選択してから [Save] で保存します。

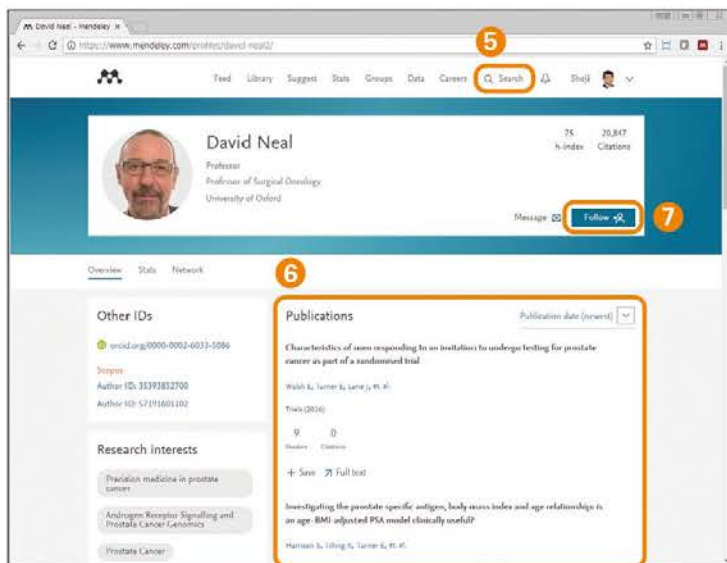
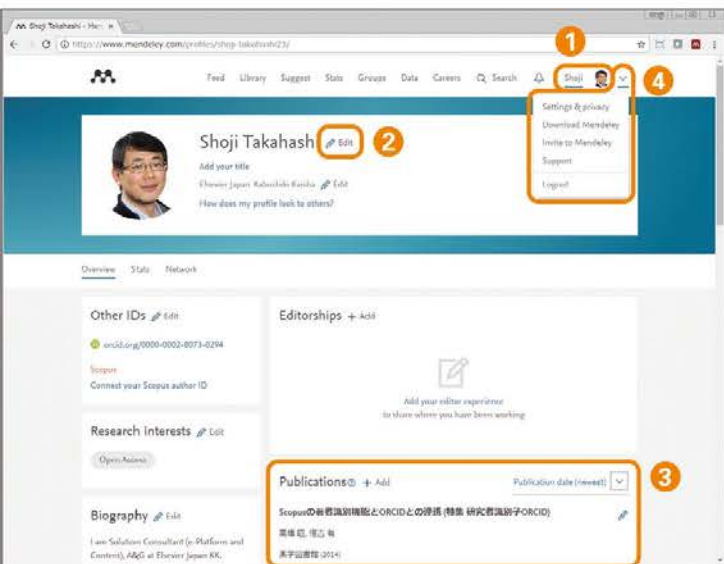
※ データベースによっては、個別の論文ページにのみ対応している場合があります。

※ ScienceDirect、Scopus、CiNii、医中誌Webなどのように、製品内にMendeleyへのエクスポートのメニューが用意されている場合もあります。

※ 電子ジャーナルでは、PDFも一緒にダウンロードできる場合があります。PDFを開いた画面からも、Web Importerを利用することができます。



# 個人プロフィールと研究者ネットワーク



## 個人プロフィール

Mendeleyでは、自分のプロフィールや発表論文を公開することができます。

- 1 個人プロフィールを編集するには、ウェブ版にサインイン後、自分の名前へのリンクまたは写真をクリックします。
- 2 各項目の [Edit] をクリックして、自分のプロフィールに表示する個人情報を編集することができます。
- 3 自分の発表論文を公開するには、Publications欄の [+ Add] をクリックし、PDFをドラッグ&ドロップします。デスクトップ版またはウェブ版のライブラリのMy Publicationsフォルダに論文を追加しても同じです。
- 4 E-mail、Password、肩書、専攻分野を変更するには、名前の右のvをクリックし、[Settings] を選択します。[Privacy] では、個人情報の公開範囲を指定することができます。

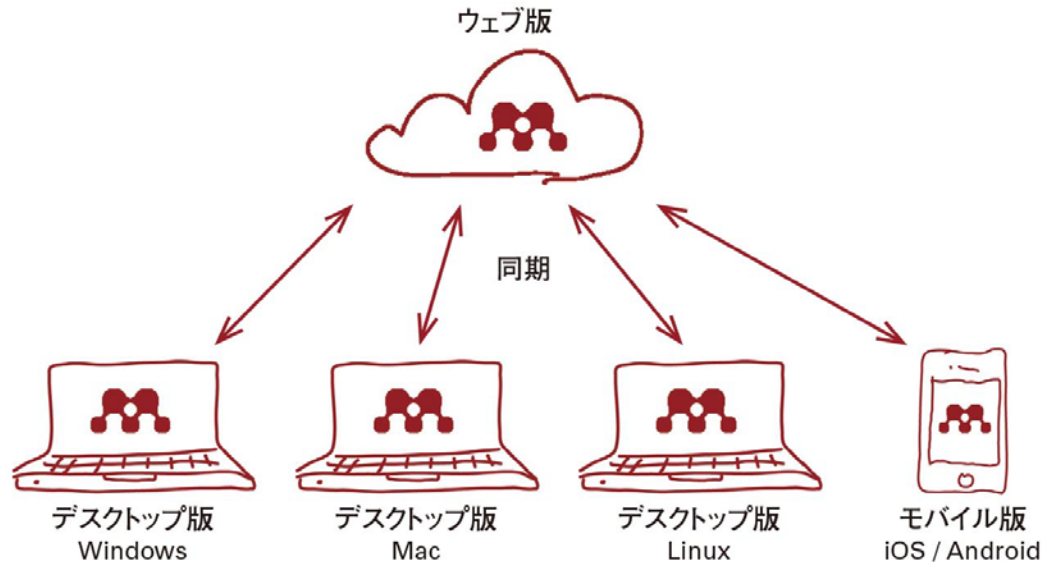
## 研究者ネットワーク

他の研究者を検索し、その発表論文を確認したり、フォローしたりすることができます。

- 5 トップメニューから [Search] → [People] を選択して、他の研究者を検索することができます。
- 6 その研究者の発表論文などを確認することができます。
- 7 この研究者をフォローしたい場合は、[Follow] をクリックします。フォローすると、Feedページにその研究者の活動が表示されるようになります。

## 4. デスクトップ版とウェブ版の同期

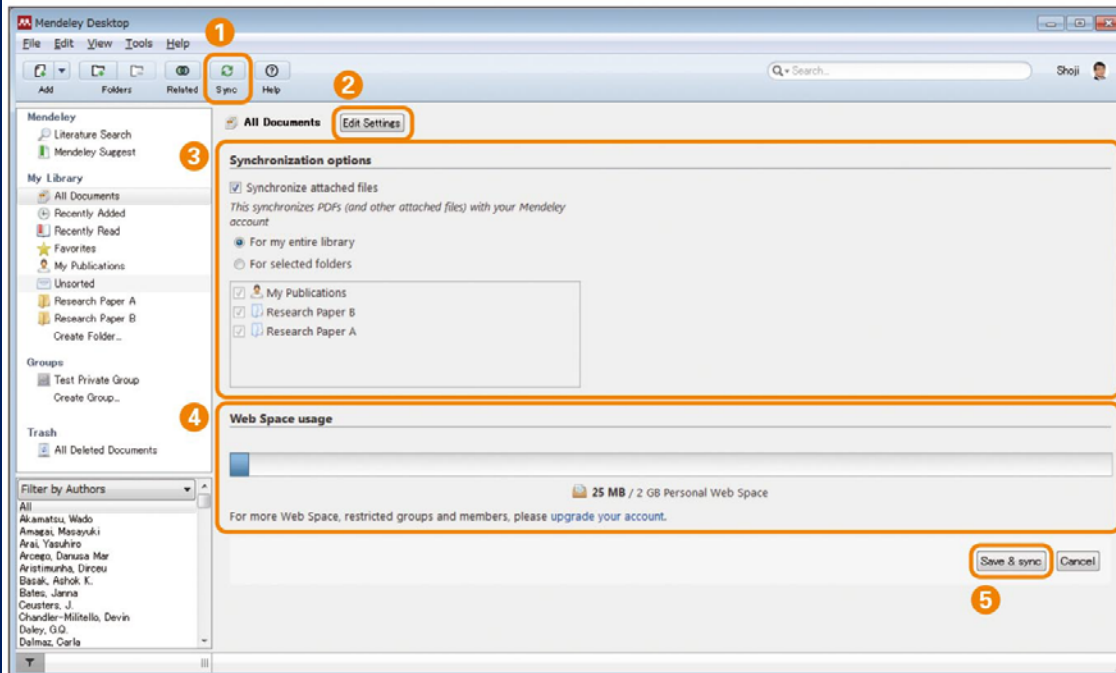
Mendeleyは、デスクトップ版とウェブ版を組み合わせ使用します。デスクトップ版とウェブ版を同期することによって、どこからでも同じ環境で利用できるようになります。



デスクトップ版とウェブ版を同期させることによって、複数の端末やデバイスから同じ文献にアクセスできるようになります。たとえば、大学/職場のWindows、自宅のMac、通学/通勤途中のiPadから同じ文献を読むことができます。

ウェブ版はデータのバックアップの役割も果たします。新しい端末にMendeleyをインストールした場合、同期するだけですべての文献を新しい端末に取り込むことができます。

同期は、デスクトップ版を起動したときに自動的に実行されます。デスクトップ版のツールバーの [Sync] をクリックして同期させることもできます。



1 デスクトップ版とウェブ版を同期するには、ツールバーの [Sync] をクリックします。

2 PDFの同期方法を指定するには、[My Library] 欄で All Documentsを選択した状態で [Edit Settings] をクリックします。

3 PDFを同期する場合は、[Synchronize attached files] をチェックします。同期の対象とするフォルダを指定することもできます。初期設定は全フォルダ (For my entire library) です。

4 ウェブ版の空きディスク容量を確認できます。無料版では2GBまで、機関版では100GBまで利用可能です。個人でのアップグレードも可能です。

5 [Save & sync] をクリックし、設定の保存および同期を実行します。



## 5. Wordへの参考文献の挿入

Wordで論文を執筆する際に、Mendeleyから参考文献を簡単に挿入できます。7,000以上の引用スタイルに対応しています。LibreOffice、BibTexにも対応しています。

### Wordプラグインのインストール



Windows :



Mac :



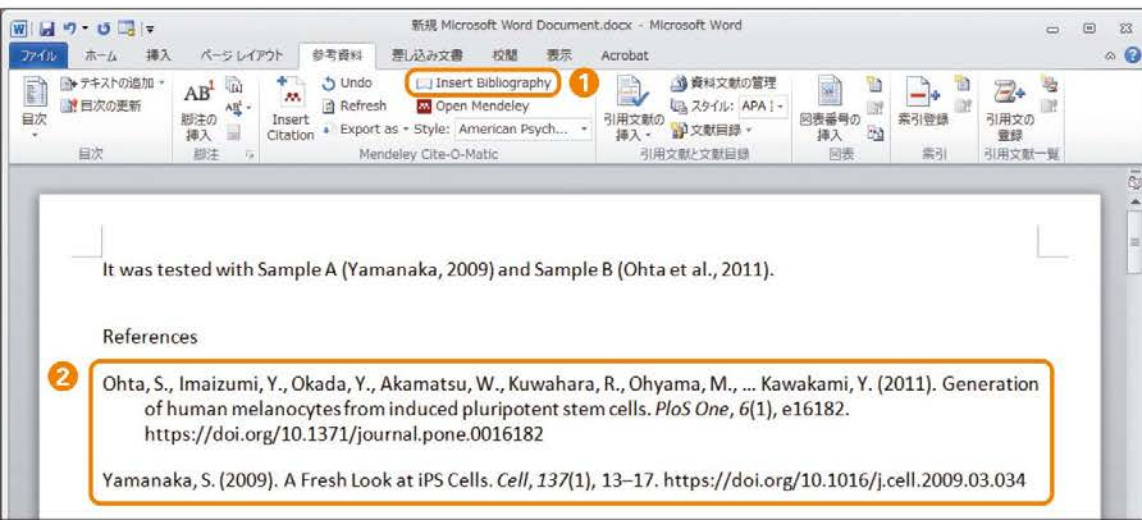
Word文書に参考文献を挿入するには、Wordプラグインのインストールが必要です。

- 1 デスクトップ版の [Tools] メニューから [Install MS Word Plugin] を選択します。

インストールが完了すると、Wordプラグインが以下の場所に表示されます。

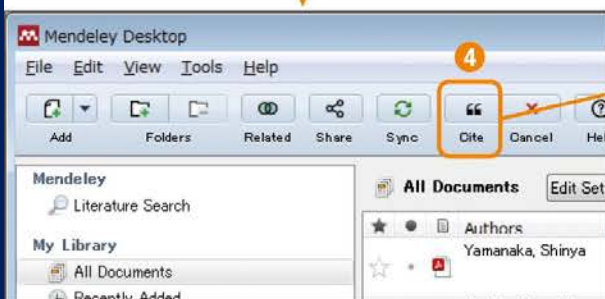
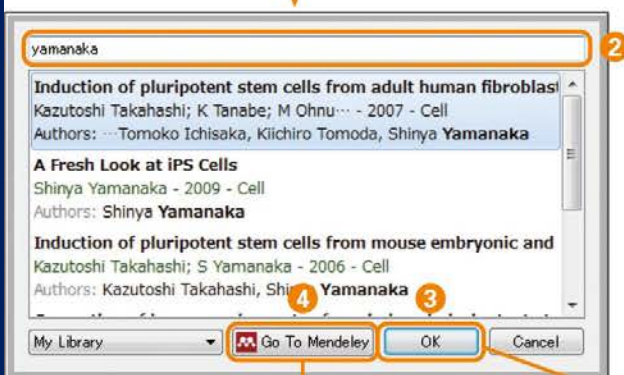
- 2 Windows : [参考資料] メニューに表示されます。
- 3 Mac : [参照設定] メニューに表示されます。

### 参考文献リストの作成



- 1 参考文献リストを挿入したい場所にマウスカursorを置き、[Insert Bibliography] をクリックします。
- 2 参考文献リストが挿入されます。

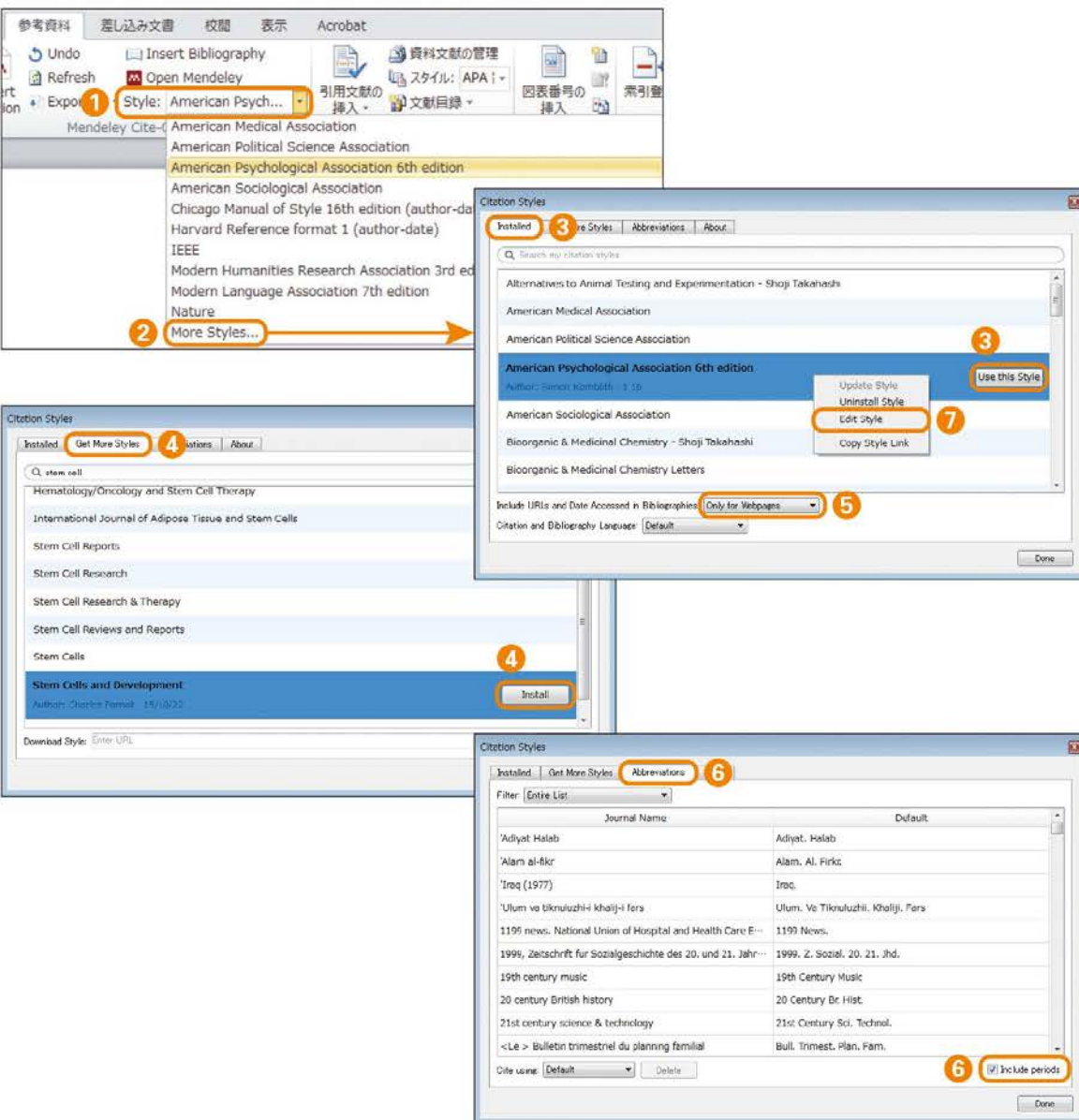
# 参考文献の挿入



- 1 原稿内の参考文献を挿入したい場所で、[Insert Citation] をクリックします。
- 2 ポップアップウィンドウが現れるので、必要な文献を Author、Title、Year で検索します。
- 3 希望の文献を選択し、[OK] をクリックします。
- 4 Mendeley 本体で検索したい場合は、[Go To Mendeley] をクリックします。文献を選択し、ツールバーの [Cite] をクリックします。
- 5 マウスカーソルの場所に文献符号が挿入されます。

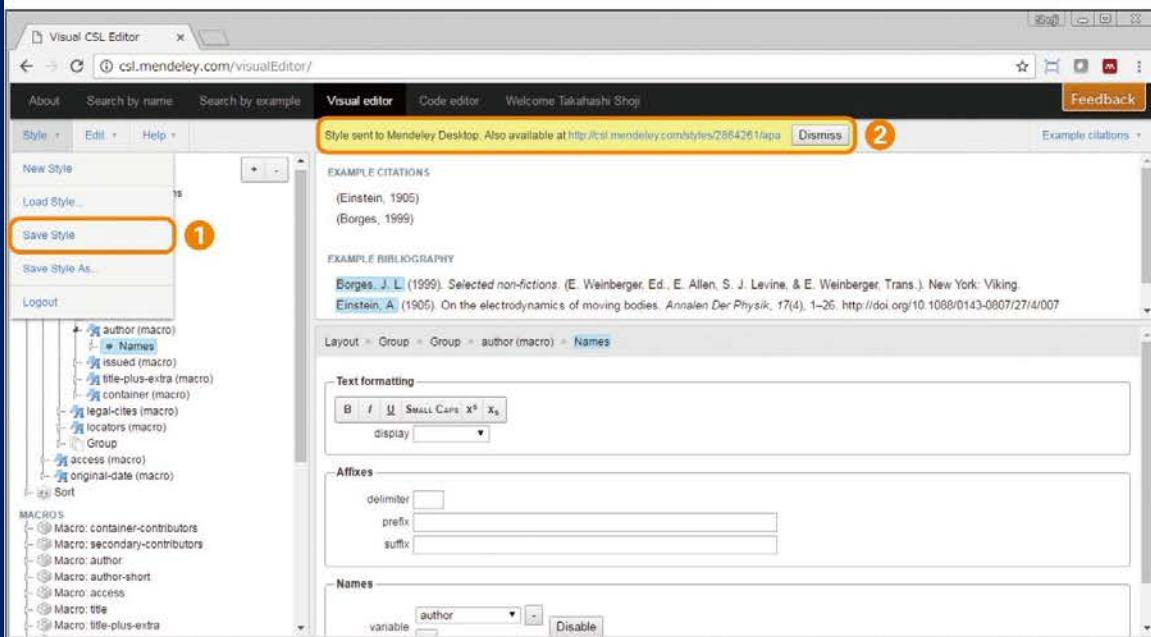


# 引用スタイルの変更



- 1 引用スタイルは、Styleプルダウンリストで変更することができます。
  - 2 Styleプルダウンリストにないスタイルを使用するには、[More Styles...] を選択します。
  - 3 希望のスタイルがインストール済の場合は、ポップアップウィンドウの [Installed] タブから選択し、[Use this Style] をクリックします。
  - 4 希望のスタイルがまだインストールされていない場合は、[Get More Styles] タブで検索し、[Install] をクリックします。
  - 5 文献タイプがウェブページの場合にのみ参考文献に URL を含めるようにするには、Include URLs and Date Accessed in Bibliographiesプルダウンで [Only for Webpages] を選択します。
  - 6 ジャーナルの省略形にピリオドを付けるか付けないかは、引用スタイル側ではなく、[Abbreviations] タブの [Include periods] で指定します。
  - 7 既存のスタイルを編集して新しいスタイルを作成するには、右クリックで表示されるメニューから [Edit Style] を選択し、CSL Editorを起動します。
- ※ 引用スタイルは、Mendeleyデスクトップ版の [View] メニュー → [Citation Style] でも指定できます。

## 引用スタイルの編集

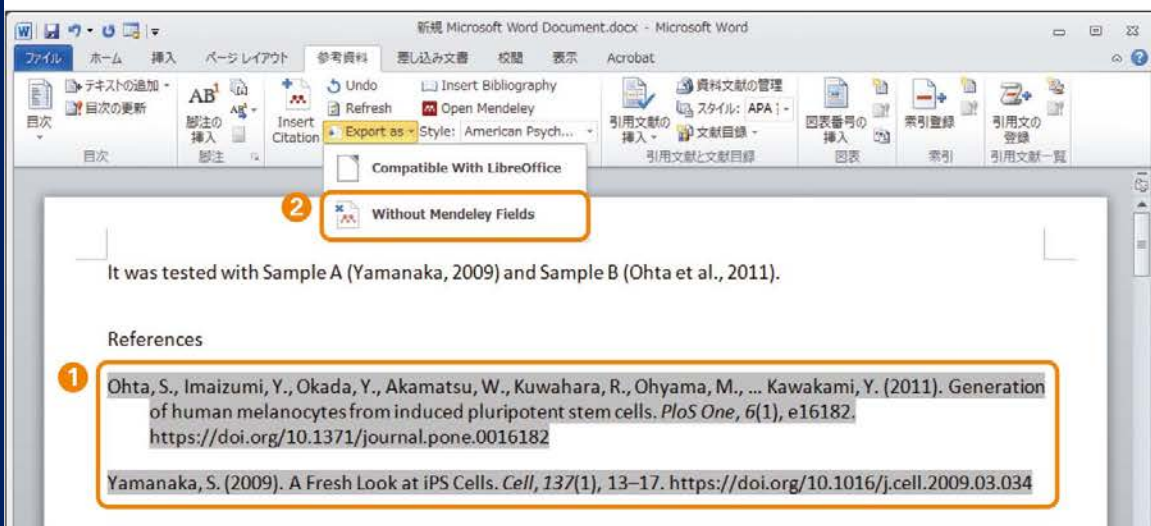


引用スタイルは、CSL Editor (csl.mendeley.com) で編集することができます。

- 1 編集が終了したら、[Style] メニュー → [Save Style] を選択して保存します。
- 2 編集されたスタイルがMendeleyサーバー上に保存され、そのURLが表示されるとともに、スタイルが読み込まれた状態でMendeleyデスクトップ版が起動します。

※ 引用スタイルの編集方法は、下記ページでご確認ください。  
[www.elsevier.com/jp/online-tools/mendeley/citation-style](http://www.elsevier.com/jp/online-tools/mendeley/citation-style)

## リンクを解除したファイルの作成



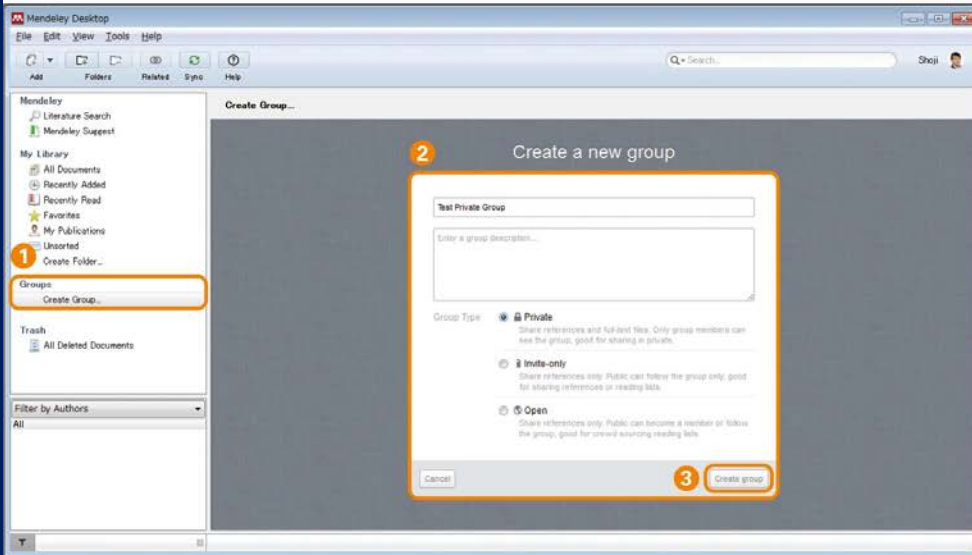
- 1 WordファイルはMendeleyとリンクされた状態になっているため、参考文献リストをマニュアルで変更しても、[Refresh] など他の操作を行うと元の状態に戻ってしまいます。
- 2 Mendeleyとのリンクを解除したファイルを作成するには、[Export as] → [Without Mendeley Fields] で別ファイルに出力します。



## 6. プライベートグループ

Mendeleyのプライベートグループは、他のユーザーと文献を共有することを可能にし、研究者間のコラボレーションを促進します。

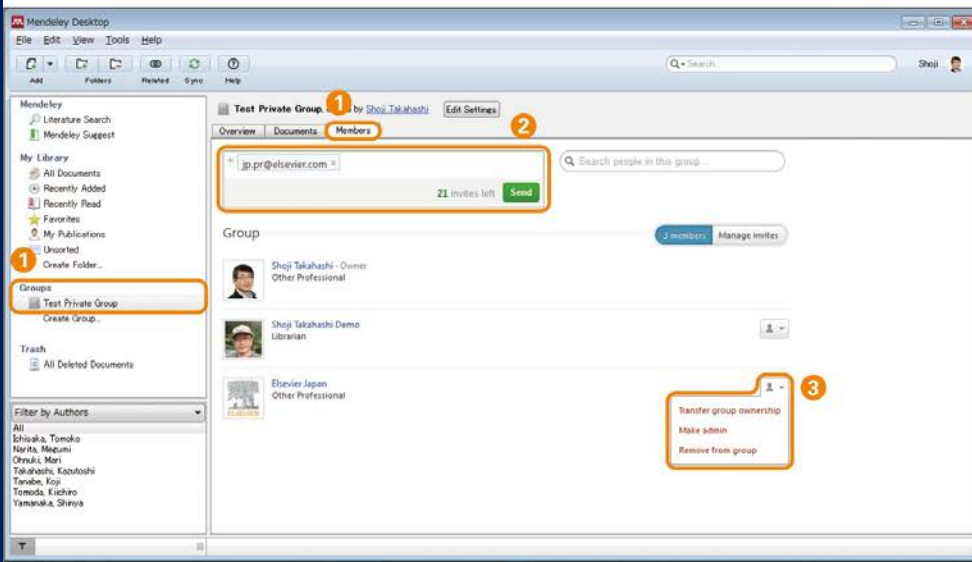
### グループの種類と作成



プライベートグループは、デスクトップ版で作成できます。


- 1 左フレームのGroups欄の [Create Group ...] をクリックします。
- 2 ポップアップウィンドウで、グループの名前と説明を入力し、グループの種類を選択します。
  - Private … 招待されたメンバーのみが追加・閲覧できます。書誌情報とPDFを共有できます。プライベートな研究プロジェクトに適しています。
  - Invite-only … 誰でも閲覧できますが、招待されたメンバーのみが投稿できます。ラボの研究成果やリーディングリストの公開に適しています。
  - Open … 誰でも閲覧・投稿できます。オープンなディスカッショングループに適しています
- 3 [Create group] をクリックしてグループを作成します。

### 他のメンバーの招待と管理



無料版では25人のプライベートグループを5つまで、機関版では100人のプライベートグループを無制限に作成できます。グループを作成したOwnerが他のメンバーを招待します。

- 1 グループに他のユーザーを招待するには、左フレームのGroups欄でグループを選択してから、[Members] タブを開きます。
- 2 [+ Invite people ...] 欄に招待したいユーザーのE-mailを入力してから、[Send] をクリックして招待を送信します。

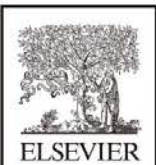
招待されたユーザーには、E-mailで通知が届きます。招待されたユーザーが [Accept] すると、グループに参加できます。
- 3 グループのOwnerは、メンバーの右の  メニューから、他のメンバーにOwnerの権限を譲渡したり、他のメンバーをグループから削除したりできます。

## 文献の共有

The screenshot displays the Mendely Desktop interface. On the left, a document titled 'Induction of Pluripotent...' is open. A red box highlights the 'SUMMARY' section, which contains text about reprogramming human somatic cells. A red circle with the number '1' is placed next to the text. On the right, a 'Details' panel is visible, showing 'GENERAL NOTES' and a 'GROUP: TEST PRIVATE GROUP' section. The group section contains two entries, each with a user profile picture and a note, both highlighted with red boxes and a red circle with the number '1'.

デスクトップ版で文献をプライベートグループのフォルダにコピーしてからウェブ版と同期すると、文献を他のメンバーと共有することができます。プライベートグループでは、PDFも共有することができます。

- 1 PDFに書き込んだハイライトや注釈も他のユーザーと共有できます。ユーザーの名前や写真、ハイライトや注釈の色でユーザーを区別することができます。



エルゼビア・ジャパン株式会社  
リサーチソリューションズ

よくある質問と回答、ご質問（英語）  
<http://support.mendeley.com>

ユーザー向け情報（日本語）  
本ガイドの PDF版、オンライン講習会情報など  
<http://www.elsevier.com/jp/mendeley/users>





# Stats is becoming part of your Mendeley profile

We are pleased to announce that we will soon be integrating the Stats dashboard with your profile so that you can monitor the impact of your work and showcase it to others in one place.



[More information](#)

My Publications Reviewed Publications

Citations



3,143

Powered by Scopus

h-index



28

Powered by Scopus

Publications



160

Powered by Scopus

Views



39,067

Powered by ScienceDirect

Readers



1,452

Powered by Mendeley

## Performance Timeline

Views this month

128

Your publications have received 128 views so far this month and a cumulative 4,267 views so far this year.

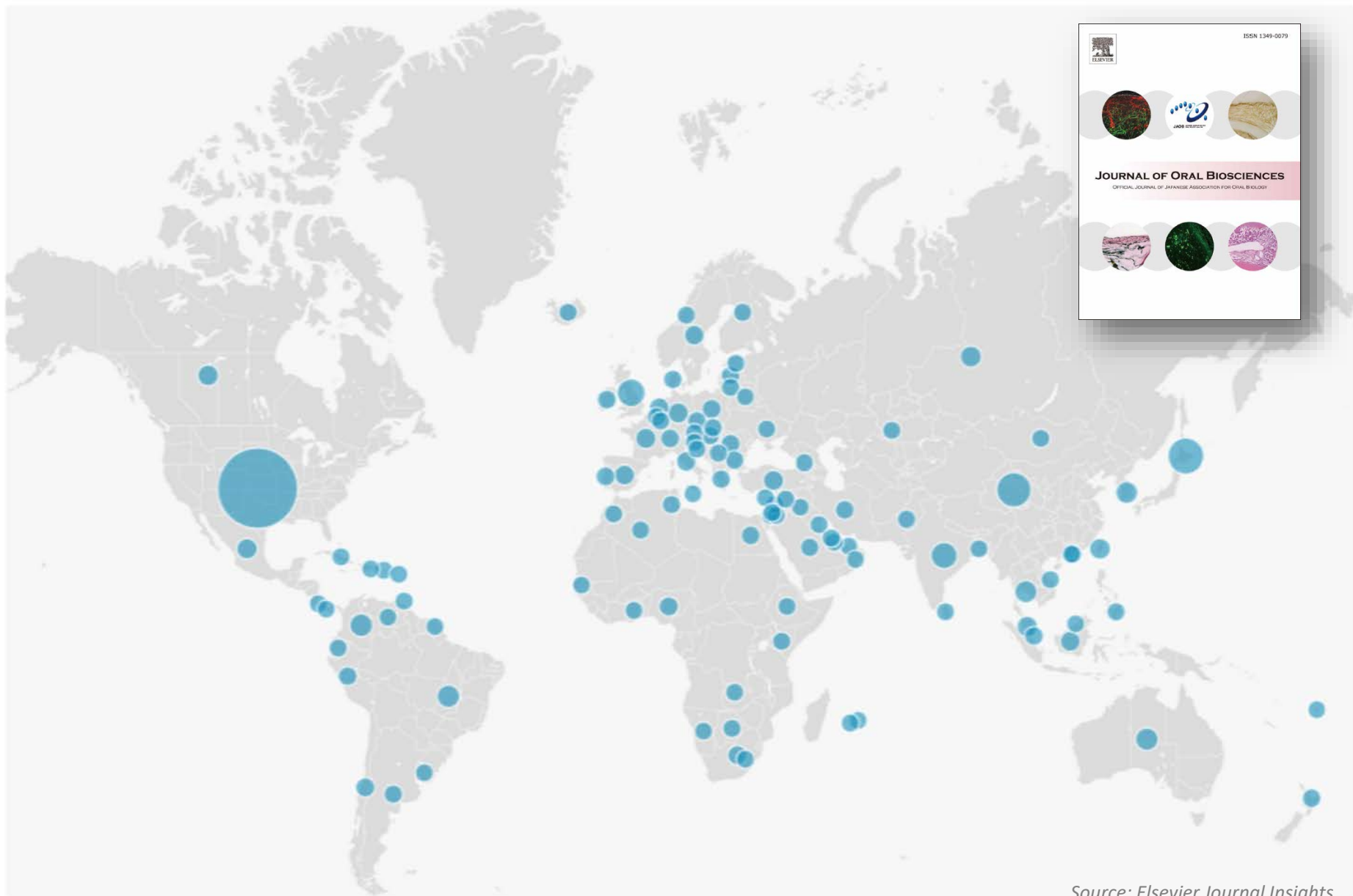
Citations this month

4

Your publications have been cited 4 times so far this month and a cumulative 164 times so far this year.

# Downloads

*Journal of Oral Biosciences*の出版論文は世界全域からダウンロードされています。



Source: Elsevier Journal Insights



## JOURNAL OF ORAL BIOSCIENCES

Official Journal of the Japanese Association for Oral Biology

- Journal of Oral Biosciences (JOB) 誌は皆様の投稿をお待ちしています！
- JOB誌の発展は歯科基礎医学会の発展に繋がり、学会の発展は歯科医学の発展に繋がる。



**JAOB** JAPANESE ASSOCIATION FOR  
ORAL BIOLOGY since 1958

DENTISTRY



- 日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会 編:科学の健全な発展のために—誠実な科学者の心得—
- 出版倫理(エルゼビア社)
  - [http://jp.elsevier.com/\\_\\_data/assets/pdf\\_file/0019/256114/Get-Published\\_Japanese.pdf](http://jp.elsevier.com/__data/assets/pdf_file/0019/256114/Get-Published_Japanese.pdf)
  - <https://www.publishingcampus.elsevier.com/pages/154/Colleges/College-of-Skills-Training/Resources-for-Skills-Training/Quick-Guides-and-Downloads.html>
- Mendeley クイックリファレンスガイド(エルゼビア社)
  - [http://jp.elsevier.com/\\_\\_data/assets/pdf\\_file/0019/265051/mendeley\\_qrg\\_japanese.pdf](http://jp.elsevier.com/__data/assets/pdf_file/0019/265051/mendeley_qrg_japanese.pdf)
- EndNote X8 クイックリファレンスガイド(ユサコ株式会社)
  - [http://www.usaco.co.jp/lancelot/common\\_files/images/public/QuickReferenceGuide\\_X8.pdf](http://www.usaco.co.jp/lancelot/common_files/images/public/QuickReferenceGuide_X8.pdf)
- 新潟大学医歯学図書館(旭町分館):PubMedガイダンス(入門)
- 岸見一郎・古賀史健著:「嫌われる勇気」—自己啓発の源流「アドラー」の教え
- 渋沢栄一著・守屋 淳翻訳:「現代語訳 論語と算盤」
- 「ジェームス・アレンの自分を幸せに導く方法」
- 第119回日本解剖学会 Prof. Paul K. Nakane 特別講演